

令和5年度

離島・過疎地域づくりDX促進事業

(高齢者等のみまもり支援事業)

(実績報告書)

令和6年3月

株式会社おきでんCplusC



おきでん  
CplusC

## 目次

1	弊社概要および業務実績について .....	- 1 -
	(1) おきでんCplusCの概要と取組について.....	- 1 -
	(2) おきでんCplusCの業務実績について .....	- 3 -
2	取組内容 .....	- 8 -
	(1) 概要 .....	- 8 -
	(2) 事業にあたっての現状認識 .....	- 8 -
3	実績報告 .....	- 11 -
	(1) 対象世帯の募集および選定等.....	- 11 -
	(2) 対象世帯への「みまもりキット」の設置 .....	- 23 -
	(3) みまもり支援体制の構築及び運用.....	- 24 -
	(4) 事業の効果を高めるための取組 .....	- 26 -
	(5) アンケート調査の実施 .....	- 32 -
	(6) 関係機関等との取組状況に関する連絡会議の実施 .....	- 44 -
4	事業の成果.....	- 48 -
	(1) 概要 .....	- 48 -
	(2) 詳細 .....	- 48 -

## 1 弊社概要および業務実績について

### (1) おきでんCplusCの概要と取組について

株式会社おきでんCplusCは、沖縄電力株式会社により、ジャパンインテグレーション、インスパイア・インベストメントと共に、最先端のIT技術を活用して安心・安全な社会を実現する生活サポート事業を展開し、豊かな暮らしづくりを目的とし、2021年5月に設立された事業会社です。

#### <会社概要>



2023年3月31日現在

会社名	株式会社おきでんCplusC
設立	2021年5月13日
授権資本	70百万円
出資構成	沖縄電力株式会社 ジャパンインテグレーション株式会社 株式会社インスパイア・インベストメント
代表取締役	社長 仲程 拓 (沖縄電力株式会社 取締役)
企業理念	ひととひとの結(つながり)を通じて いつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしづくりに貢献することで、お客さまに寄り添い、 ココロのエネルギーをお届けします。

これまで事業者等によって行われてきた高齢者の「見守り」は、カメラやマイク、ウェアラブル機器を活用して状況を把握するサービスや、緊急の際に駆けつけるサービスなどが展開されてきました。これは緻密に高齢者の状況を把握することができる反面、専用機器の設置等によるコストや、カメラ等で見られているというプライバシー面での抵抗感があることなどの課題があります。

おきでんCplusCの『やさしいみまもり』は、高齢者向けの支援を目的としたブランドです。私たちは、世界最先端のWiFiセンシング技術を活用し、カメラやマイクを使用せずにプライバシーを守る仕組みを提供することで、自治体・地域関係者の負担軽減に貢献しています。

おきでんCplusCでは、米国メリーランド大学発ベンチャーOriginWireless Inc. が開発した機器を採用しています。同社は、世界最先端として業界標準をリードするイノベーション企業であり、最先端テクノロジーが集まる世界最大展示会CESでベスト・イノベーションと評されるなど、WiFiセンシング分野で業界をリードしている企業です。独自のAI技術（タイムリバーサル）を用いて、WiFi電波の反射の位相や到達時間のずれを逆算し、わずか30cmの精度で室内の人や物の動き・位置、さらに睡眠時の呼吸などを検出する「WiFiセンシング」を開発・提供しています。

図 1：OriginWireless Inc. について

**2024 年世界標準化技術でプライバシーに配慮  
世界初最先端のWiFiセンシング技術を活用**



**ORIGIN™** 最先端テクノロジーが集まる世界最大展示会CESで「ベスト・イノベーション」と評された米国オリジン・ワイヤレス社のWiFiセンシング技術を活用。Wi-Fi電波の反射を位相や到達時間のズレを逆算する独自のAI技術（タイムリバーサル）を用いて、わずか30cmの精度で室内の人の動き・位置、睡眠時の呼吸などを検知します。

**150以上** 特許申請済

**60** 特許保有

創業者Ray Liu博士はメリーランド大学のdistinguished professor(名誉教授)を長く務め、2022年に電気・通信工学分野の技術標準化機関IEEEの次期会長に選出されました。IEEEが2024年に標準化予定の802.11bfはWiFiセンシングに関する規格となっています。2022年からはPhilipsのIoT電球が70カ国以上で販売中、WiFiセンシングはさらに世界へ広がっていきます。







**PHILIPS WIZ**



©ignify

図 2：導入イメージ

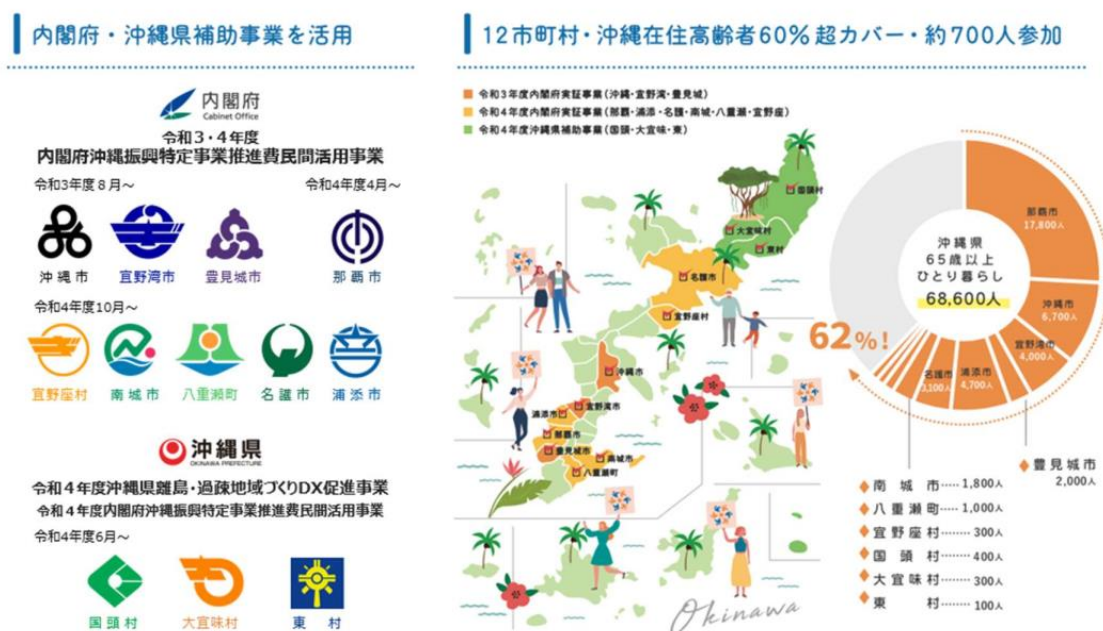


(2) おきでんCplusCの業務実績について

事業展開にあたり、2021年8月から2022年10月にかけて、おきでんCplusCと沖縄市、宜野湾市、豊見城市、那覇市、宜野座村、南城市、八重瀬町、名護市、浦添市、国頭村、大宜味村、東村は、高齢化の進展に伴う、自治体における高齢者みまもり等の業務負担の増加や、高齢者等のみまもりを行うご家族の時間的・経済的負担の増加という社会課題を解決し、いつまでも元気で笑顔に満ちた暮らしができる社会の構築を目指して、緊密に連携・協力して共同実証試験の実施に向けた協定を締結し、同12自治体とともに、内閣府が実施する令和3年度・令和4年度沖縄振興特定事業推進費補助金にて、「ITを活用した高齢者みまもり体制構築実証事業」を実施いたしました。

また、2022年6月から2023年2月にかけて、国頭村・大宜味村・東村において、令和4年度離島・過疎地域づくりDX促進事業(高齢者等のみまもり支援事業)を実施しました。安心・安全な地域コミュニティの形成を支援することを通じて活性化し、社会課題の解決と持続可能な地域づくりを目指すものです。北部3村において地域コミュニティの拠点としての役割を担っている共同売店をはじめとして、村役場・社会福祉協議会・各地域の自治会とも連携し、高齢者等のみまもり体制の構築につながる取組を実施しました。

図 3：沖縄県内12市町村「ITを活用した高齢者みまもり体制構築実証事業」



当該実証事業においては、高齢者本人・高齢者の家族・自治体・関係機関にIoTやAI等を活用して有機的につながり、高齢者の居住地を訪問せずとも遠隔地の高齢者の状態を確認でき、訪問対応が必要な状態が発生した場合には、関係者が連携して対応できる体制のあり方の検証が求められており、IoTを活用することで離れて暮らす家族等によるみまもり（自助）や、社会的に必要性が高い者への行政等（地域包括支援センター、社会福祉協議会等）によるみまもり（共助・公助）を組み合わせた「みまもり社会体制」の構築および実証として、

- ・WiFi機器により高齢者の状態検知を行い、その結果を高齢者の家族等に通知し、その際の通知のあり方（内容・頻度・媒体等）をどのようにするのが最も適切かの検証
- ・自治体等に対しても、高齢者の状態検知の情報を定期的なレポートの形で報告（その際に、IT活用による効果検証に加え、報告のあり方（対象機関、内容、頻度、媒体等）をどのようにするのが最も適切かを検証）を行いました。

当該実証事業においては、周知活動として、弊社および関係自治体のHPやSNSでの情報発信、関係自治体の広報誌への記事掲載、沖縄タイムスやコミュニティラジオ等のメディア対応、学校等へのリーフレットの配布、自治会や老人クラブ等での計119回にわたる個別説明会の開催等、さまざまな手段・媒体を活用した取組を実施いたしました。こうした関係自治体と連携した周知活動や説明会開催により、当該実証事業においては、一人暮らしの高齢者を中心に合計634人のモニターを確保しました。

説明会においては、実際に事業で使用する機器の使い方等について、モニターとなるご本人や、そのご家族の方に、年齢とともに情報処理能力が低下することなどを体験いただくなどの工夫を行い、当該実証事業の意義等についての理解度向上を図りました。この説明会については、事業完了時のアンケート調査においても80%を超える方から役に立った旨の回答をいただいております。

当該実証事業においては、オンライン又は書面で申込をいただいたのちに、「みまもりキット」を高齢者宅に設置するために訪問を行いました。設置訪問については事業完了時のアンケート調査にて、高齢者・そのご家族双方から、「設置工事が思ったよりすぐ終わった」「担当者が親切だった」との回答を多くいただき（それぞれ48～64%）、「時間が長かった」「担当者が不親切だった」との回答を大きく上回る（それぞれ1～8%）評価をいただいております。

設置後のサービスにおいても、機器等の不良や操作が分からないなどの問合せに対して電話やメール、必要に応じて訪問するなどして対応を行っており、アンケート調査では「説明が分かりやすく、助かった」との評価が約9割と、大変高い評価をいただいております。

当該実証事業に対しては、モニターの方々からは、「みまもられていて安心」「自分の生活を振り返れて良い」などの評価をいただいております。また、モニターのご家族の方々からは、「本人の状況が分かって安心」との評価を多くいただいたところです。

（それぞれ、「タブレットが使いにくかった」「本人がITに対応できていない」などの回答をいただいておりますが、当該実証事業では実証内容の一環として、モニターご本人にタブレットでの生活状況の入力をお願いしており、このことに起因する回答が相当数含まれたことが分かっております。）

図 4：モニター回答 実証試験を通じての評価（有効のべ回答 235人）  
〔設問 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？(複数回答可)〕

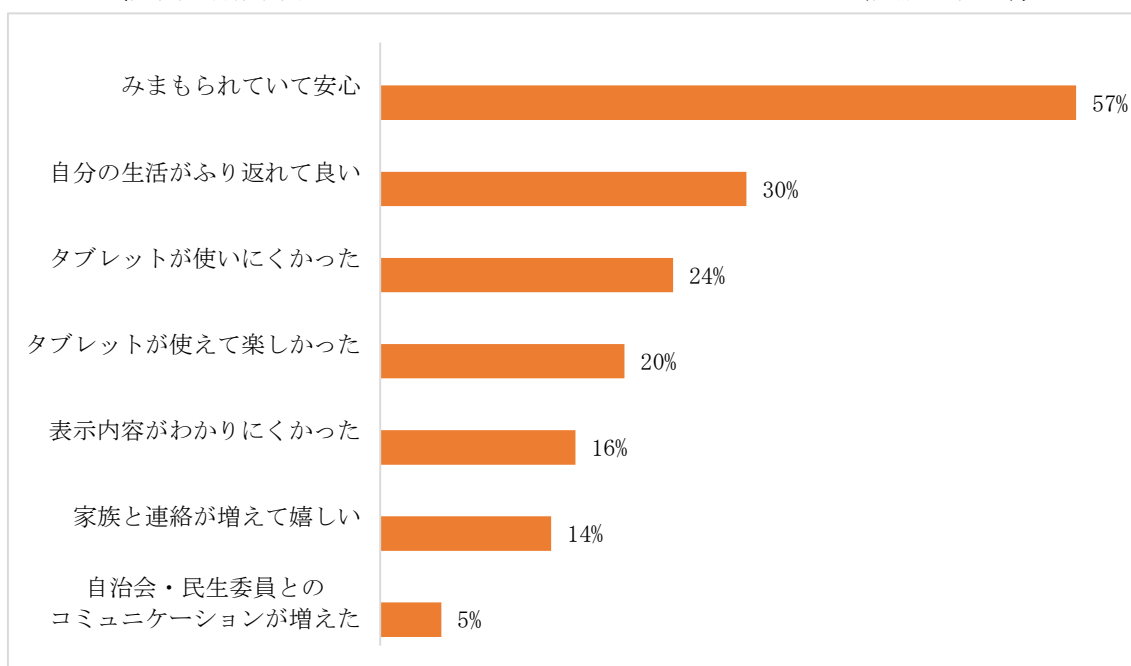
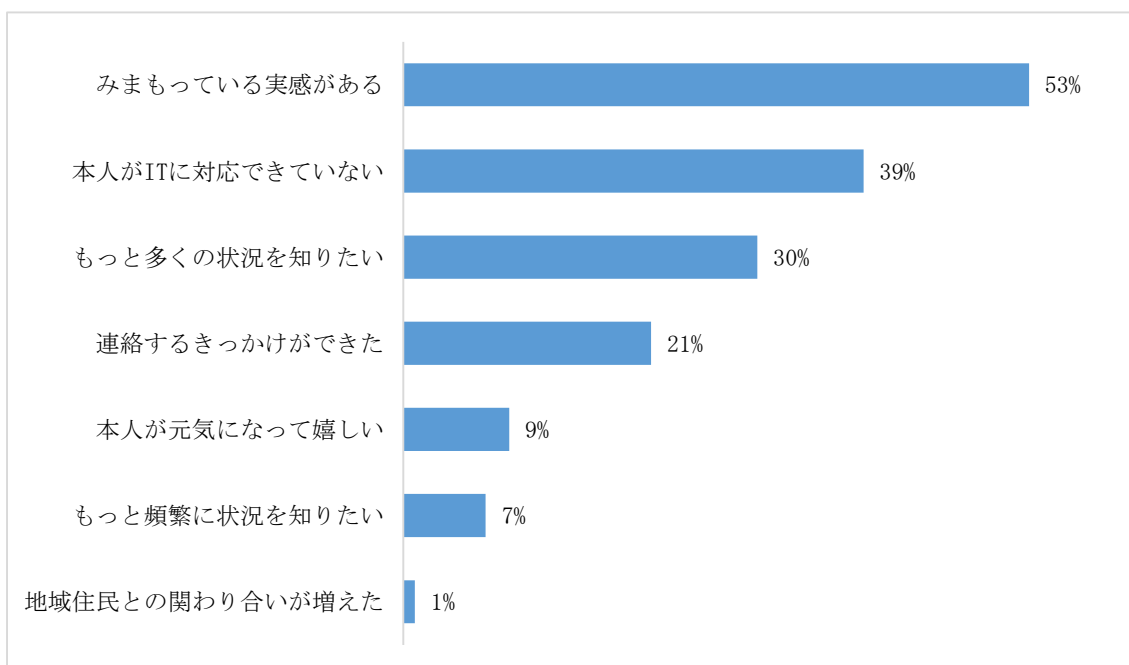


図 5：家族等回答 実証試験を通じての評価（有効のべ回答 314人）  
〔設問 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？(複数回答可)〕



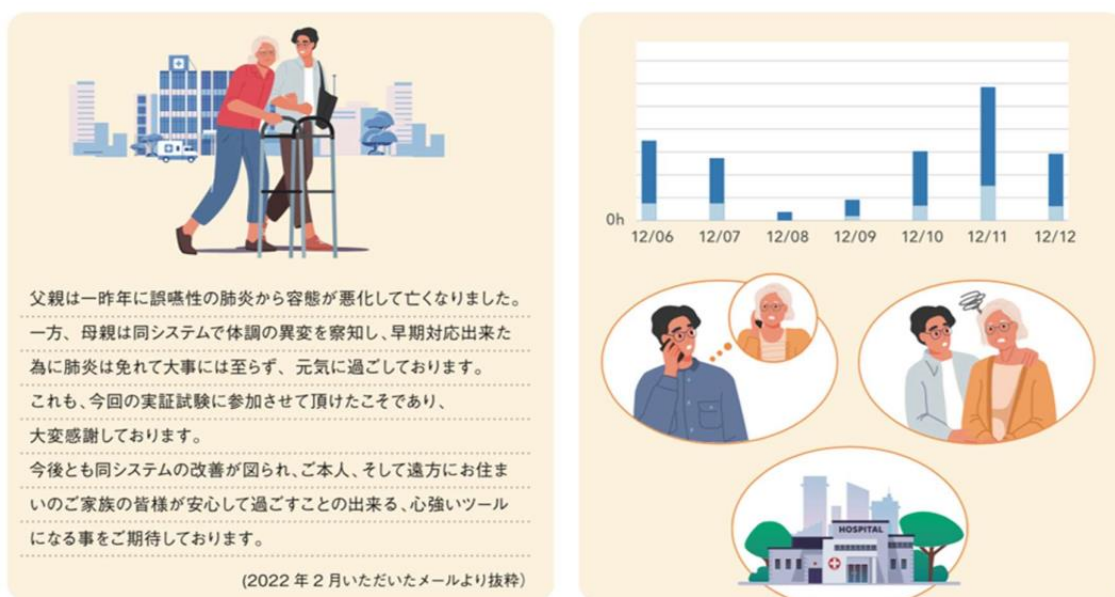


また、実証試験期間中の令和3年12月に対象者の体調の異変をご家族が早期に把握できたことで、体調の悪化を未然に防いだ事例も報告されました（詳細は、以下のとおり）。

- ・ 高齢者モニターの夫は一昨年に誤嚥性の肺炎から容態が悪化して逝去しており、現在長男は別室に住んでいるものの、ほぼ独居状態である。過去の背景から、離れて暮らす家族は高齢者モニターの生活状態を気にかけており、今回の実証試験参加につながった。
- ・ 令和3年12月、これまで平均6～8時間の睡眠をとっていた高齢者モニターの睡眠時間が著しく減っていることを離れて暮らす家族が確認し、居宅を訪問。就寝しようとしても痰が絡み咳き込むため、寝つけない状態であることが判明。翌日病院を受診したところ、軽い肺炎の症状が確認され、咳止めや抗生物質が処方された。
- ・ 病院受診の翌日になっても、引き続き睡眠がとれていないことを確認したため、ドラッグストアに睡眠の状態を相談、市販の睡眠導入剤を処方された。

ドラッグストア訪問当日の夜から睡眠が十分にとれるようになり、軽い肺炎もおさまった。高齢者モニターの夫のように肺炎から容態が悪化して最悪の事態が起きることを未然に防ぐことができた。

図 6：実証試験機関の「家族等の高齢者みまもり」事例  
(実証試験参加家族からの報告抜粋)



参加された自治体に対しては、こうしたモニターやその家族からのアンケート調査に基づく評価のほか、自治体ごとの参加人数や参加者の方の属性（性別、年齢層、参加される動機など）等を報告書として取りまとめて報告しております。

## 2 取組内容

### (1) 概要

「連絡網の整備及び離島・過疎地域における高齢者等のみまもり体制の構築」

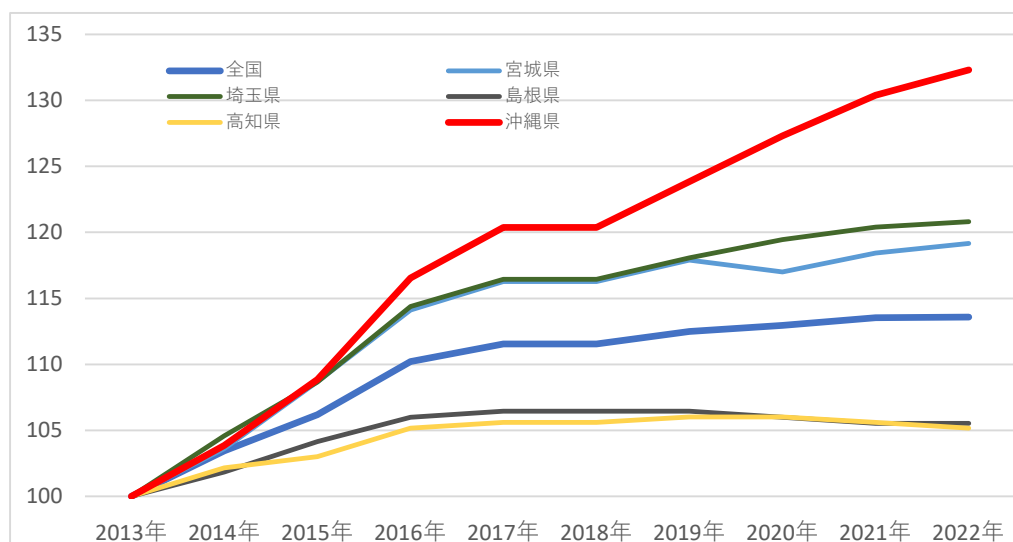
今後、高齢化とともに人口減少や、地域の高齢者福祉等の継続が危惧される国頭村、大宜味村、東村、伊江村、石垣市（以下、5市村）において、高齢者等とご家族・地域関係者まで網羅した連絡網を整備し、ITを活用したみまもりサービスをはじめとする必要な機能を集約することで、地域に根ざしたコミュニティ形成、さらには高齢者福祉の充実等を図りました。

### (2) 事業にあたっての現状認識

わが国では高齢化が急速に進展し、令和5(2023)年8月の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口の割合）は29.1%になっています（総務省人口推計）。今後も高齢化率は上昇を続け、令和9(2027)年には30%、令和19(2037)年には33.3%と3人に1人が高齢者となる見込みです（国立社会保障・人口問題研究所日本の将来推計人口（令和5年推計））。

これまで高齢化率が全国より低い水準に留まってきた沖縄県でも、直近約10年間に於いて、高齢者人口や単身高齢者世帯の伸びが全国でも高い水準で伸びています。特に今後の高齢化率は全国でも最も早いペースで進行することが予測されており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2050年には65歳以上の高齢者人口が現在の約140%を超えるとされています。

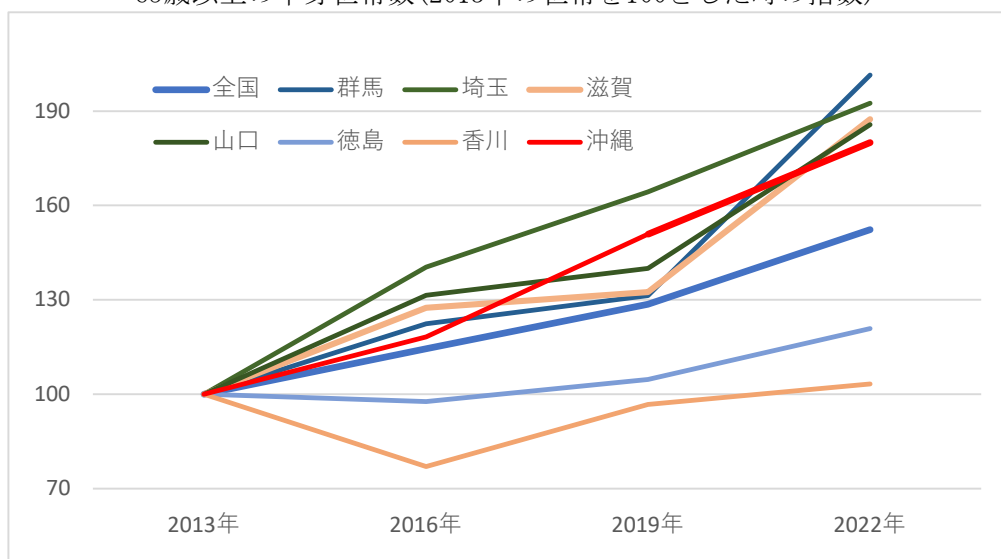
図 7：高齢者人口の伸び  
高齢者人口(2013年の人口を100とした時の指数)



総務省 人口推計より作成

図 8：単身高齢者世帯の伸び

65歳以上の単身世帯数(2013年の世帯を100とした時の指数)



厚生労働省 国民生活基礎調査より作成

実際の人口増減についても、沖縄県が公表している市町村人口推計によると、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で県外への転出が停滞して、社会減少が抑えられたものの、長期的には人口が減少トレンドとなっております。

人口の社会減少は他地域への転出により発生します。一般的には仕事や学業、婚姻等の理由で転居される方が多いことから、これまで親子で同居されていた場合には、子世代の転出により、高齢者の方とその子世代の方が離れて暮らすことになると考えられます。こうした背景から沖縄県における単身高齢者世帯数は増加傾向にあり、この傾向は今後も続くものと考えられます。

こうした中、高齢者福祉の充実に向けては、各自治体において、社会福祉協議会や自治会等と連携し、高齢者を見守る様々な取組が行われています。例えば、高齢者単身世帯を自治会や地域ボランティア等が定期的に訪問したり（日常的見守り活動）、食事や保健飲料を宅配する際に住民である高齢者と接触したりすることを通じて、安否確認等が行われていますが、いずれの自治体においても、高齢者の人数に対して十分なサービス提供とはなっておりません。

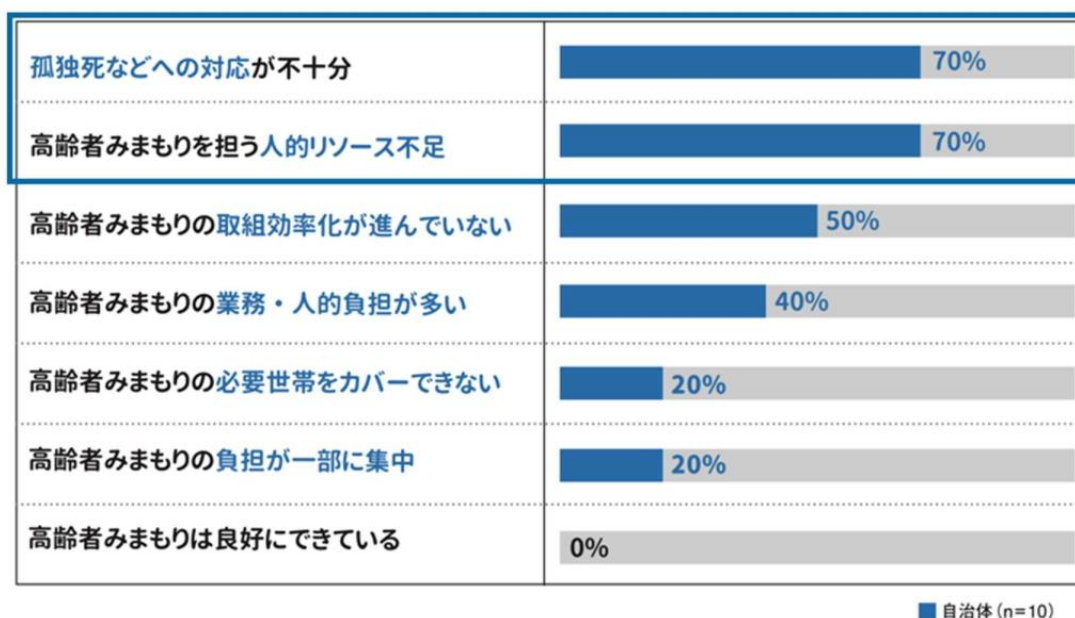
また、こうした取組の多くは社会福祉協議会や自治会等によるボランティア活動により行われており、その手法も直接の訪問や電話等での安否確認に限定されてきました。高齢者の増加に加え、先に述べた人口減少により、こうした取組の担い手は今後一層不足し、特に都市部に比べて一層の人口減少が見込まれるほか、各世帯が分散している中山間地域では、交通アクセスの観点からも高齢者世帯への見守りにかかる支援者に対する負担が増加していくことが見込まれます（なお、こうした取組を中心的に担っている民生委員は、沖縄県で

は全国と比較して不足しており、その観点からも見守りの担い手の不足が危惧されています。)

また、人口減少並びに単身高齢者の増加により、高齢者の孤独・孤立に関する課題も生じています。特に高齢者の孤独・孤立は孤独死に繋がりやすく、これまで参加自治体へ実施したアンケート調査からも地域の高齢者に対する孤独死に係る対応への不安は示されており、自治体側に対応義務はないにも関わらず地域の課題として存在し、社会問題として顕在化しつつあります。

図 9：自治体アンケート調査「現在の高齢者みまもり対応の現状」

沖縄県12市町村大規模社会実証 参加自治体アンケート調査「現在の高齢者みまもり対応の現状」



以上のことから、持続可能な高齢者福祉を実現するに当たっては、ITを活用し、離れて暮らす家族や地域が参加して高齢者等のみまもりを行える仕組みを網羅的に整備し、安心・安全な新しいみまもり体制の構築が必要となっています。

### 3 実績報告

#### (1) 対象世帯の募集および選定等

県や自治体、当該地域関係者等と連携の上、本事業に参画する対象世帯の募集を行いました。

#### 【事業参加世帯に関する基本的考え方について】

##### ア 参加要件

- (ア) 対象地域内に居住している世帯であること。  
(対象地域：国頭村、大宜味村、東村、伊江村、石垣市)
- (イ) 参加者のみまもりについて、当該参加者の居住する地区の自治会や民生委員等の共助の担い手から同意が得られていること。
- (ウ) みまもり支援を受ける必要があると認められる世帯であること。

##### イ 選定方針

事業主旨を踏まえて、以下の順位で優先的に参加者を選定する。

- (ア) 対象地域外から移住してきた単身の高齢世帯
  - (イ) 対象地域外に家族が居住している単身の高齢世帯
  - (ウ) 上記のいずれにも該当しない高齢世帯
  - (エ) 上記のいずれにも該当しない世帯
- ※ (ウ) 及び (エ) に該当する者については、家庭環境、障害、疾病の有無等みまもり支援を行う必要性を十分に検討した上で選定を行う。

各市村においては、自治体広報誌等で事業の紹介、対象世帯の募集を行うなど、市村内全域に係る募集活動を行うとともに、重点的に事業を実施することを想定した区域を定め、当該地域では集中的に募集活動を行いました。

重点区域の選定にあたっては、沖縄県や5市村とも協議の上で候補地域を選定し、当該地域の自治会長に対する訪問・事業の説明を行った上で、各自治会協力のもと、区域内で人が集まる行事の前後を活用するなどして、説明会を開催いたしました。

具体的には、国頭村では与那区を、大宜味村では喜如嘉区を、東村では川田区、伊江村では東江上区・西江前区・西崎区、石垣市では栄区をそれぞれ重点区域として選定することとし、それぞれ区長に対し説明、了解を得ました。

募集活動としては、自治体広報誌での事業概要の紹介や参加者募集活動、SNSでの情報発信（おきでんCplusCの事業について発信したのものも含まれます。）、村役場や公民館へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、地域イベントへのスタッフ

の参加を通じた周知活動を実施しました。離島においては地元新聞への掲載や地元ラジオ番組内での告知を実施し多くの反応がありました。その他個別の問い合わせ対応等を行いました。

図 10：自治体広報誌への掲載 国頭村 9月号

**「令和5年度 沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業(高齢者等のみまもり支援事業)」の実施について**

株式会社おきでんCplusC(代表取締役社長:仲程拓)の提案する「やさしいみまもり」では、最先端のITテクノロジーである「Wi-Fiセンシング技術+AI」を活用し、「地域全体の高齢者を常にもみまもる」体制の構築を目指しています。

おきでんCplusCの取扱うセンサーはカメラやマイクを使わず、身につける必要も無く、離れて暮らすお父さんお母さんを「やさしくみまもる」を実現します。

事業内容については右記までお問い合わせください。

**期間** 令和6年2月29日まで

**株式会社おきでんCplusC**

**0120-425-065 (平日:9:00~17:00)**



5

図 11：自治体広報誌への掲載 大宜味村 9月号

**「高齢者等のみまもり支援事業」無料利用者募集について**

株式会社おきでんCplusC(代表取締役社長:仲程拓)の提案する「やさしいみまもり」では、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、離れて暮らすご家族及び地域の関係者が連携し、自助・共助・公助が一体となった地域全体の高齢者等のみまもり体制を構築いたします。

さらに、村内在住の独居高齢者を対象に、最先端のITテクノロジーである「WIFIセンシング技術」を活用したみまもりセンサーを設置することで、離れて暮らすご家族や地域の関係者が、プライバシーに配慮した形でみまもることが可能になります。事業内容については下記までお問い合わせください。

**対象** 大宜味村在住の65歳以上の方

**期間** 令和6年2月29日まで

**申込方法** QRコードをカメラで読み取ると申し込みフォームが開きます。  
ご家族とご相談のうえ、お申し込みください。



24時間365日「いつも元気」がわかる&結が繋がり、いつまでも元気で笑顔な暮らし



**【お問い合わせ先】 株式会社おきでんCplusC ☎ 0120-425-065 (平日:9:00~17:00)**  
**大宜味村住民福祉課 ☎ 0980-44-3003**

図 12：自治体広報誌への掲載 東村10月号

## 「令和5年度 沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業 (高齢者等のみまもり支援事業)」の実施について

株式会社おきでんCplusC(代表取締役社長：仲程拓)の提案する「やさしみまもり」では、最先端のITテクノロジーである「Wi-Fi センシング技術+AI」を活用し、「地域全体の高齢者を常にもみまもる」体制の構築を目指しています。

おきでんCplusCの取扱うセンサーはカメラやマイクを使わず、身につける必要も無く、離れて暮らすお父さんお母さんを「やさしくみまもる」を実現します。

事業内容については下記までお問い合わせください。

**期間**  
令和6年2月29日まで

**問い合わせ**  
株式会社おきでんCplusC  
☎ 0120-425-065  
(平日: 9:00~17:00)

24時間365日「いつも元気」がわかる&繋がりが、いつまでも元気で笑顔な暮らし

日々の生活を確認できるから  
離れて暮らすお父さんお母さん  
いつも笑顔で暮らせます。

図 13：自治体広報誌への掲載 伊江村9月号

## 「高齢者等のみまもり支援事業」 無料利用者を募集します。

株式会社おきでんCplusCの提案する「やさしみまもり」では、高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、離れて暮らすご家族及び地域の関係者が連携し、自助・共助・公助が一体となった地域全体の高齢者等のみまもり体制を構築いたします。

今回のみまもりは、カメラやマイクは使わず、自宅へ「みまもりセンサー」を設置し、ご家族はスマホやタブレットで自宅にいる高齢者等の様子を把握することが可能になります。

伊江島で一人暮らしをしているおじいちゃんおばあちゃんの事で心配はありませんか？  
高齢者が住み慣れた伊江島で長く過ごせるように、ご家族でみまもり、ご連絡を取り合うことで安心して過ごせる一つの手段になればと考えています。

くわしい事業内容については下記までお問い合わせください。

**対象者** 伊江村在住の65歳以上の方 **募集期間** 令和6年1月末まで

24時間365日「いつも元気」がわかる&繋がりが、いつまでも元気で笑顔な暮らし

日々の生活を確認できるから  
離れて暮らすお父さんお母さん  
いつも笑顔で暮らせます。

**申込方法** QRコードをカメラで読み取ると申し込みフォームが開きます。  
ご家族とご相談のうえ、お申し込みください。  
株式会社おきでんCplusC  
<https://www.cplusc.co.jp/contact/>

**お問い合わせ** 株式会社おきでんCplusC ☎ 0120-425-065 (平日: 9:00~17:00)  
住民課(伊江村地域包括支援センター) ☎ 0980-49-2002

**伊江島** 8月の雨量

【設置場所】ハイビスカス園:493.0mm/伊江島空港:531.0mm/西崎公民館:147.0mm  
【備考】最高雨量 8月6日 232.0mm(場所:伊江島空港)

**昨年実績**

【設置場所】ハイビスカス園:77.0mm/伊江島空港:58.5mm/西崎公民館:98.5mm  
【備考】最高雨量 8月8日45.5mm(場所:西崎公民館)

11 伊江島広報誌

図 14：自治体広報誌への掲載 石垣市 9月号

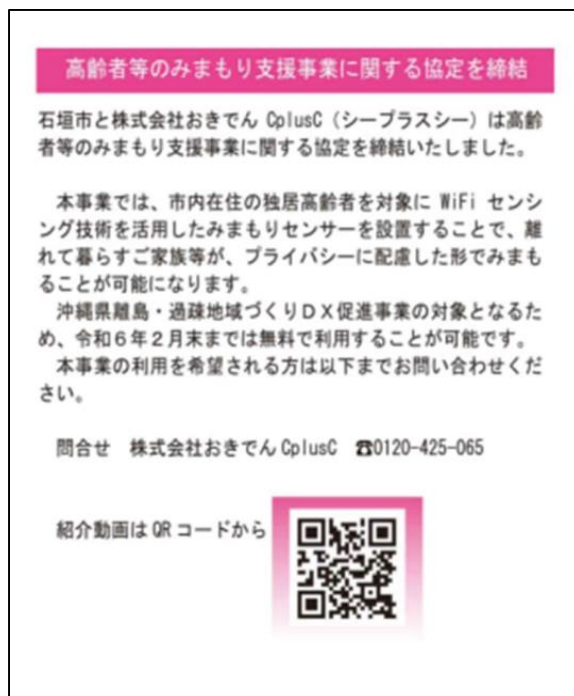


表 1：事業周知・説明会実施実績

N0	日付	市町村	参加者	人数	場所
1	2023/7/3	大宜味村	各区長	17	大宜味村役場
2	2023/7/3	国頭村	高齢者	3	社会福祉法人容山会
3	2023/7/4	東村	民生委員	6	社会福祉協議会
4	2023/7/6	国頭村	各区長	20	国頭村役場
5	2023/7/7	大宜味村	民生委員	15	社会福祉協議会
6	2023/7/10	大宜味村	区長、高齢者	13	大宜味公民館
7	2023/7/11	東村	区長、高齢者	4	川田公民館
8	2023/7/13	大宜味村	区長、高齢者	12	大宜味公民館
9	2023/7/18	石垣市	区長	1	栄自治公民館
10	2023/7/19	大宜味村	包括	9	大宜味村役場
11	2023/7/19	石垣市	包括	9	石垣市役所
12	2023/7/21	伊江村	各区長	8	伊江村役場
13	2023/7/21	伊江村	民生委員	8	社会福祉協議会
14	2023/7/25	伊江村	高齢者・家族	40	農村環境改善センター
15	2023/7/26	伊江村	高齢者・家族	40	農村環境改善センター
16	2023/7/28	伊江村	高齢者・家族	50	農村環境改善センター
17	2023/8/14	国頭村	高齢者	16	辺野喜公民館



18	2023/8/16	大宜味村	高齢者	20	喜如嘉公民館
19	2023/8/17	伊江村	高齢者	15	東江上公民館
20	2023/8/18	東村	高齢者	13	宮城公民館
21	2023/8/18	伊江村	高齢者	15	西江前公民館
22	2023/8/22	国頭村	高齢者・家族	20	辺土名公民館
23	2023/8/22	石垣市	民生委員	30	石垣市役所
24	2023/8/23	石垣市	区長、書記	3	栄自治公民館
25	2023/8/23	大宜味村	高齢者	4	高齢者宅
26	2023/9/5	大宜味村	高齢者	25	農村環境改善センター
27	2023/9/5	東村	高齢者	18	平良公民館
28	2023/9/5	伊江村	高齢者	16	西崎公民館
29	2023/9/5	大宜味村	高齢者	20	喜如嘉公民館
30	2023/9/7	大宜味村	高齢者	20	塩屋公民館
31	2023/9/14	大宜味村	校長先生等	2	大宜味中学校
32	2023/9/20	大宜味村	民生委員、高齢者	2	高齢者宅
33	2023/9/20	国頭村	包括、高齢者宅	3	高齢者宅
34	2023/9/21	石垣市	高齢者・家族	16	栄自治公民館
35	2023/9/23	石垣市	高齢者・家族	41	石垣市民会館
36	2023/9/25	東村	民生委員、高齢者	4	高齢者宅
37	2023/9/28	伊江村	高齢者・家族	7	農村環境改善センター
38	2023/10/4	国頭村	民生委員、高齢者	3	高齢者宅
39	2023/10/5	国頭村	各区長	25	国頭村役場
40	2023/10/5	東村	各区長	7	東村役場
41	2023/10/5	東村	民生委員	5	社会福祉協議会
42	2023/10/6	大宜味村	民生委員	13	農村環境改善センター
43	2023/10/11	東村	高齢者	15	有銘公民館
44	2023/10/11	東村	高齢者・家族	2	高齢者宅
45	2023/10/16	伊江村	高齢者・家族	50	住民健診会場
46	2023/10/18	伊江村	高齢者・家族	70	住民健診会場
47	2023/10/18	東村	高齢者	15	有銘公民館
48	2023/10/19	伊江村	高齢者・家族	70	住民健診会場
49	2023/10/22	伊江村	高齢者・家族	60	住民健診会場
50	2023/10/22	石垣市	高齢者家族	9	石垣市民会館
51	2023/11/1	大宜味村	各区長	25	大宜味村役場
52	2023/11/4	石垣市	高齢者・家族	50	石垣島まつりブース出展

53	2023/11/5	石垣市	高齢者・家族	50	石垣島まつりブース出展
54	2023/11/29	大宜味村	高齢者・家族	3	高齢者宅
55	2023/12/3	伊江村	高齢者・家族	50	産業まつりブース出展
56	2023/12/7	伊江村	高齢者・家族	5	高齢者宅
57	2023/12/9	石垣市	高齢者・家族	20	健康福祉まつりブース出展
58	2023/12/14	伊江村	高齢者・家族	9	高齢者宅
59	2023/12/16	東村	高齢者・家族	100	健康福祉まつりブース出展
60	2024/1/10	伊江村	高齢者・家族	7	高齢者宅
61	2024/1/15	伊江村	高齢者・家族	7	高齢者宅
62	2024/1/29	大宜味村	高齢者・家族	3	高齢者施設
63	2024/2/2	伊江村	高齢者・家族	10	高齢者宅
64	2024/2/5	国頭村	各区長	25	国頭村役場
65	2024/2/13	東村	高齢者・区長	3	高齢者宅
66	2024/2/15	大宜味村	高齢者・区長	10	饒波公民館
合計				1,266	

図 15：説明会の様子



表 2：各自治体での取組状況(2024年2月14日時点)

	単位	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	石垣市
自治体広報	回	2	1	1	2	1
SNS広告 (自社含む)	回	13	15	14	21	24
説明会 開催回数	回	5	8	7	5	5
説明会 のべ参加人数	人	106	155	79	69	105
地域イベントへの 参加	回	1	1	2	2	3
新聞広告	回	1	1	1	2	6
ラジオ内告知	回	0	0	0	48	196

図 16：地域イベント参加の様子



図 17：地元紙への広告掲載(9月18日(月)(敬老の日))

**おkaaさんのみまもりってみんなどうしてる？**



沖縄電力グループ/  
おきでん CplusC の **〈やさしいみまもり〉** 説明会を開催します。

**日程** 9月23日(土) **時間** 10:00～11:00  
17:00～18:00

**場所** 石垣市民会館 1階 展示ホール  
石垣市浜崎町1丁目1番2号

株式会社  
おきでん CplusC おきでん CplusC は、沖縄電力グループです

おきでん みまもり

お問合せ・お申し込みは  
右記までご連絡ください。

**0120-425-065**  
受付時間 平日9:00～12:00/13:00～17:00

Web予約 

図 18：地元紙への広告掲載(10月20日(金))

速報 ヒックアップ

## 高齢者の安心・元気に 見守りツールを活用

シニアのイラスト入れる

### 活動だけでなく睡眠まで分かる

あきでんCopiucは、住まいに手ののら大のセンサーを数個置くだけで在宅・外出・睡眠などの状況を把握できる「やさしいゆまゆ」。サービスは活用している。「わざわざマイの健康のず、最先端のAI・センシング技術を導入、家の中で活動だけでなく睡眠時の呼吸も検知、ほぼ24時間稼働するスマートマネージャーは、知らず知らずのうちに、家族のスマホなどでいつでも確認できる。本人（高齢者）もタブレットで確認できるため、「自分の生活を振り返りながら、自分自身の健康状態を確認したい」という声も。睡眠時の呼吸や活動などが分かるので、状態が悪くなる前に対応できる」と話す。実際、離れて暮らす親の健康状態が把握できなくなったことに加え、家族が病気に気づいてしまったこと。動機になりかけていたというケースもあったと話す。「これによって、高齢者の健康や安全を見守るサービスとして全国に広がってほしい」と話した。

### 「見守りツール」が主眼

「高齢者が安心して生活できるようにサポートする」というのが、あきでんCopiucの理念。現在は、見守りツールが主眼。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。

高齢者も「二」

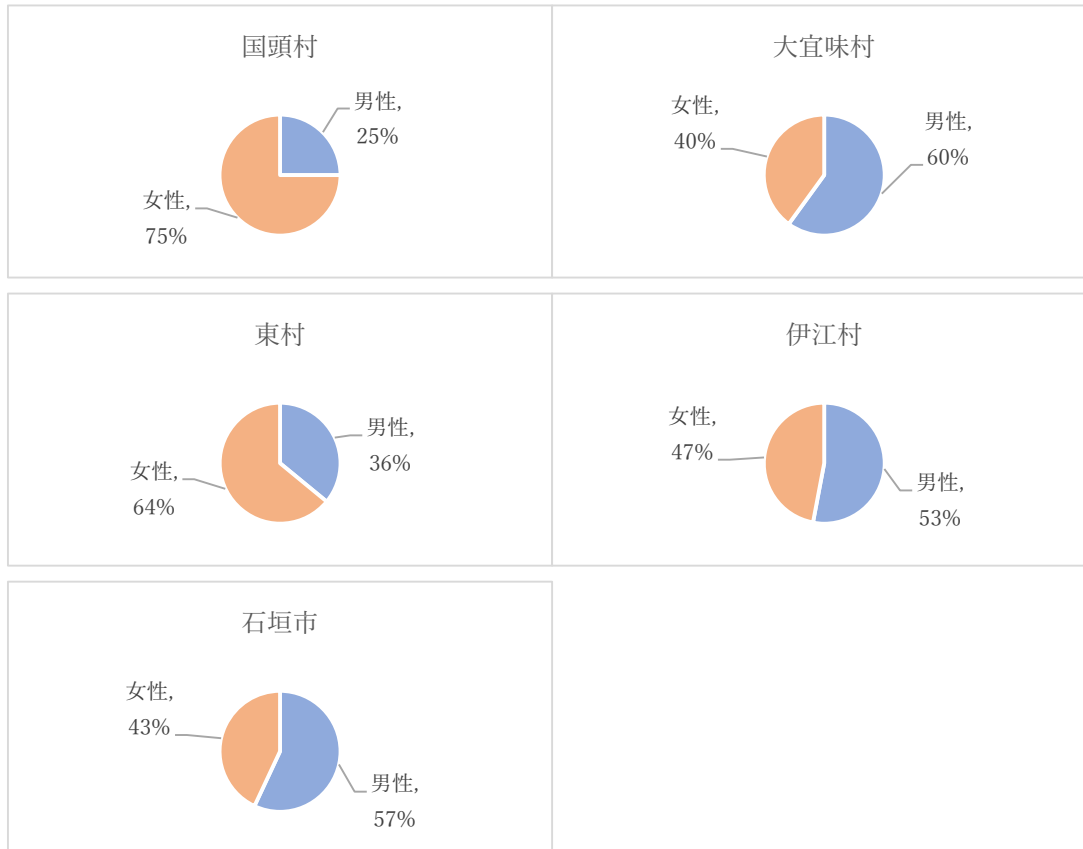
高齢者が安心して生活できるようにサポートする。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。

高齢者が安心して生活できるようにサポートする。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。高齢者が安心して生活できるようにサポートする。

こうした活動の結果、事業への参加申込世帯数は目標の100世帯に対して、102世帯から申込みがありました。102世帯の主な属性の内訳は、以下のとおりです。

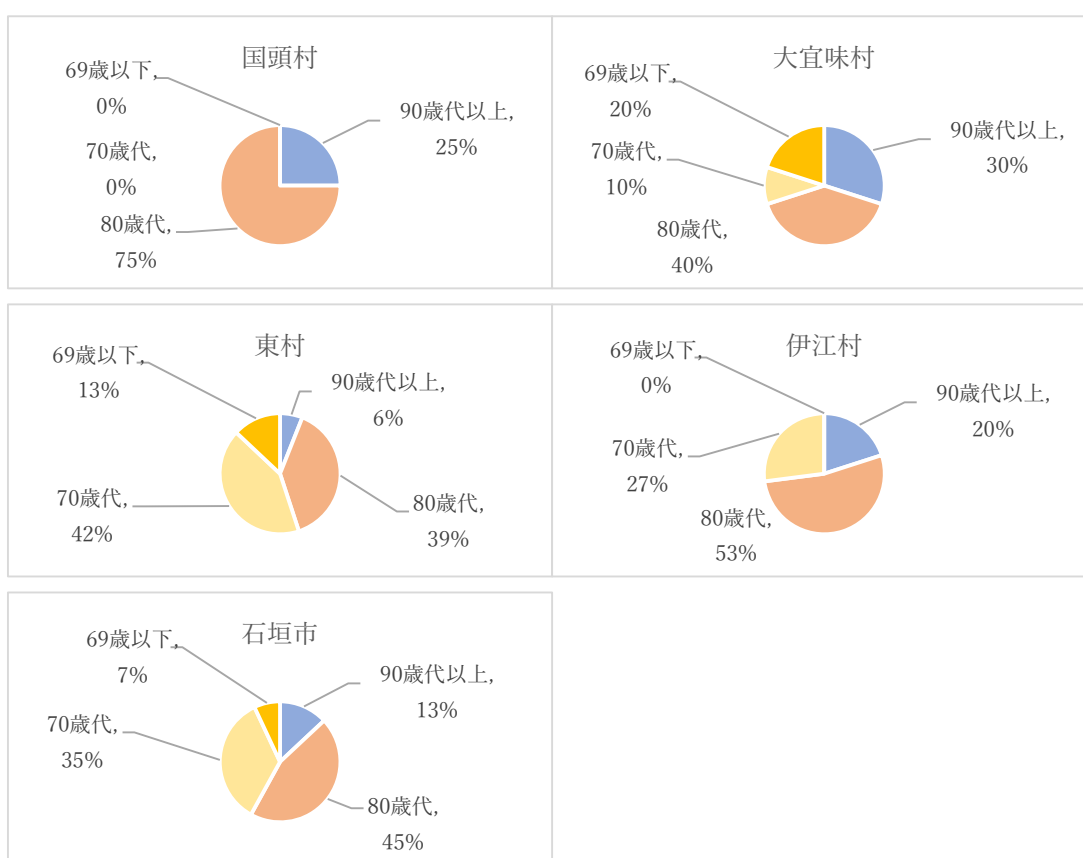
- ・申込者の性別は、女性53名、男性49名となりました。

図 19：5市村別申込世帯比率 男女比



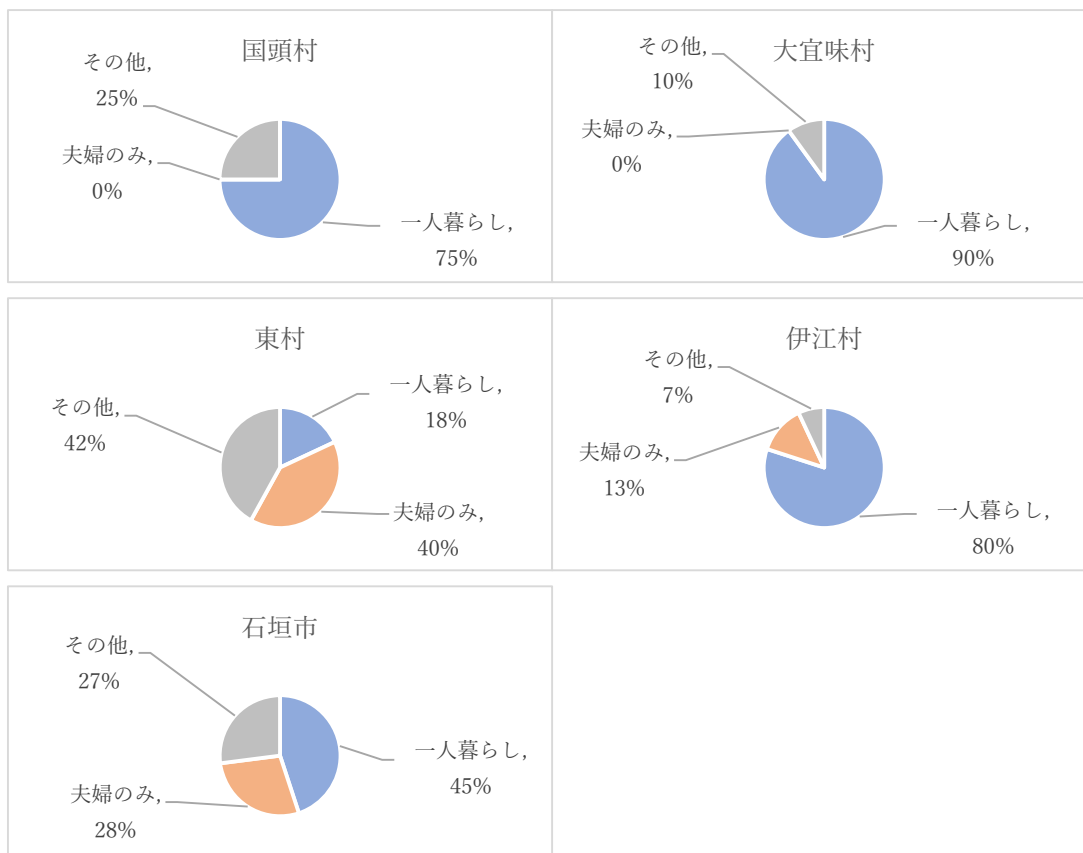
- ・申込者の居住市村は、国頭村が4世帯、大宜味村が10世帯、東村が33世帯、伊江村が15世帯、石垣市が40世帯となりました。東村においては、自治会による積極的な事業参加・募集活動へのご協力が得られたことから、各市村の単身高齢者世帯数に比して多くの事業参加者を募ることができました。
- ・申込者の年齢構成（※2024年2月29日の年齢で算出）は、69歳未満が0名、69歳以下が9名、70歳代が33名、80歳代が46名、90歳以上が14名となりました。各年齢層に幅広く参加者が分布する形となりましたが、各世代の人口を考えると、高齢層ほどみまもり事業のニーズが高い結果となりました。

図 20：5 市村別申込世帯比率 年齢構成



- ・申込者の世帯構成は、一人暮らしが48世帯、夫婦のみの同居世帯が26世帯、その他の世帯が28世帯となっており、当初の計画通り、単身高齢者世帯を中心とした構成となっています。

図 21：5 市村別申込世帯比率 世帯構成



- ・ 申込者のうち移住者については、国頭村が0名、大宜味村が1名、東村が0名、伊江村が2名、石垣市が4名となりました。氏名から移住者と判明した場合や、説明会や訪問時（機器設置等）の参加者との会話で「移住してきた」と判明する場合もありました。移住者に対してもみまもり事業のニーズが存在していることがうかがえます。
- ・ 各参加者の健康状態については、17名が要介護認定者、14名が要支援認定者であると回答いただきました。残り71名のうち、6名は申込書にて健康上の不安がある旨を回答しており、61名は「とても元気だ」と回答しています。現時点で健康不安等が顕在化していなくても、みまもり事業のニーズが存在していることがうかがえます。
- ・ また、令和4年度に参加した50世帯のうち、37世帯について令和5年度においても支援を行いました（令和5年度新規参加申込世帯と合計で139世帯）。

図 22：5 市村別申込世帯比率 健康状態

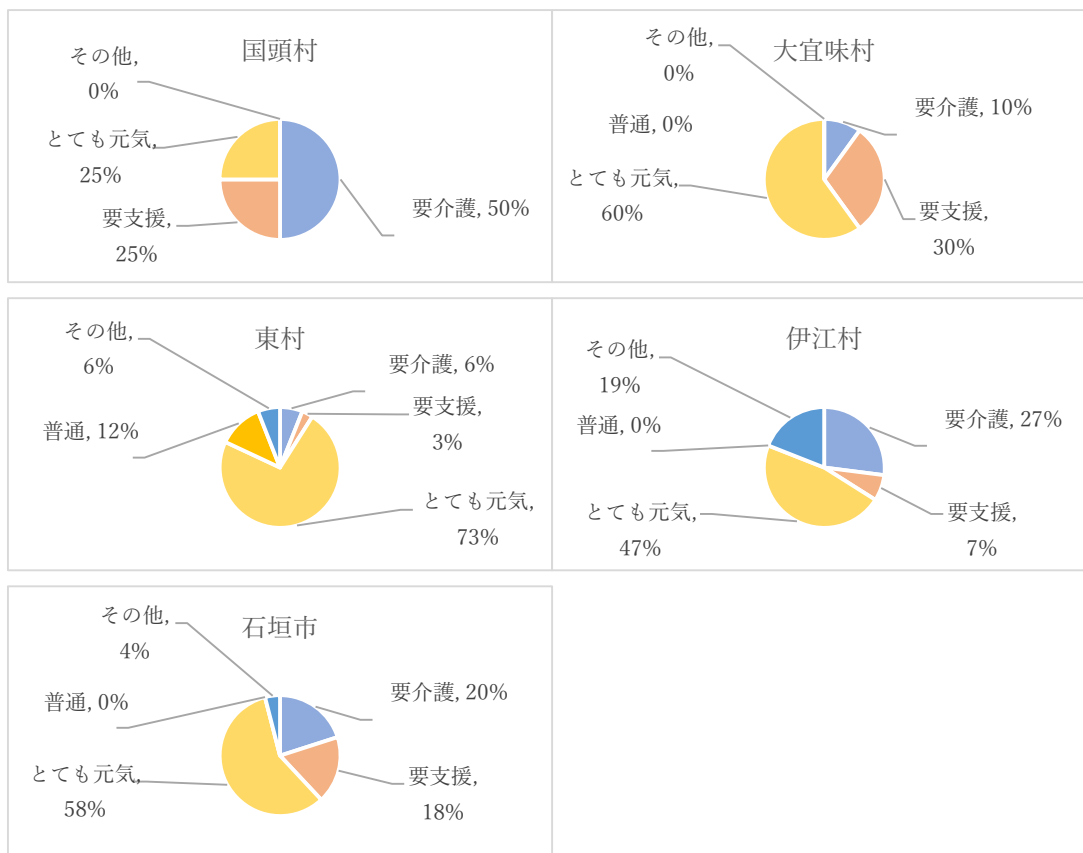


表 3：5 市村別みまもり支援世帯数（令和 4 年・5 年累計）

	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	石垣市
令和4年度継続	11	17	9	-	-
令和5年度	4	10	33	15	40
合計	139				

表 4：5 市村別年齢階層別内訳（令和 4 年・5 年累計）

	国頭村	大宜味村	東村	伊江村	石垣市
60歳未満	0	1	0	0	0
69歳以下	3	4	6	0	3
70歳代	3	8	14	4	14
80歳代	3	5	18	8	18
90歳以上	6	9	4	3	5
小計	15	27	42	15	40
合計	139				



## (2) 対象世帯への「みまもりキット」の設置

募集した対象世帯には、居宅内での活動状況等を把握できるよう、弊社サービスの「みまもりキット」を設置いたしました。

「みまもりキット」は、以下の機器で構成されています。

- a) みまもりセンサー…居宅内における人の活動および就寝時の呼吸情報を検知することで、居住者の生活情報を把握するためのセンサーです。現在商用として販売されているOrigin-Wireless社のLyra Careを使用しました。
- b) タブレット端末…対象世帯内で端末本体としてのタブレット端末および付属品のカバーです。高齢者がタブレット端末を使い慣れないことを懸念する方もいる中、親しみやすいデザインで、かつ持ちやすいものを選定しました。また、使用中の破損を懸念される方もいらっしゃることから、耐ショック性の高いカバーを選定しました。
- c) L T E ルーター…対象世帯でのインターネットWiFi環境の構築のためのルーターです。

図 23：みまもりキット一式イメージ

### 【セット内容】

今回の本事業でご提供する「みまもりキット」  
**センサー、タブレット、インターネット端末の3点セット**で各ご家庭に設置・お届けしています。

#### みまもりセンサー



家にかんたん設置、  
置くだけ。

手のひらサイズの「みまもりセンサー」を家の大きさに合わせて3つ以上、ボンとおうちに置くだけ。コンセントにつなげば、あっという間に新しい「みまもり」が始まります。

煩わしさがなく、  
プライバシーに配慮。

カメラやマイクを使わないため、プライバシーに配慮。身体に装着する機器など一切不要で煩わしさもありません。世界初の「安心みまもり」を実現する最先端テクノロジーです。

#### みまもりタブレット



いつでもどこでも  
通知を確認。

24時間・365日活動・睡眠の検知状況をわかりやすくグラフで確認。

#### インターネット端末



インターネット未接続のご家庭も安心。

インターネットやWi-Fiが接続されていない65歳以上世帯も多いことから、本事業ではインターネット端末も「みまもりキット」に含めてご提供します。

設置に関しては、弊社での設置を希望された世帯には、弊社スタッフが居宅に訪問し、機器設置を行った上で、機器の操作説明も併せて実施しました。特に80歳以上の高齢者になると、タブレット端末の操作に不安を感じられる方も多くなることがわかっておりますので、機器設置工事の際に、弊社スタッフから実機を使った操作説明等を行い、利用者が安心して利用できるよう対応しました。

また、電波状況等によりうまく活動状況が検知できない場合に、機器の配置を調整することで改善が図られる場合があります。弊社スタッフが設置作業を行った世帯については、こうしたご相談に対してスムーズに対応ができるよう、工事実施時に設置状況等について施行実施書を作成し、弊社担当者内で共有しました。また、自身又はご家族自ら設置を希望された世帯に対しては、「みまもりキット」およびその設置マニュアルを送付し、みまもりキットの設置を行えるようにしました。

### (3) みまもり支援体制の構築及び運用

上述のみまもりキットの設置により、カメラやマイク、ウェアラブルを使わずに、プライバシーに充分配慮した形で「居宅内の活動状況」及び「睡眠状況」の検知を行い、参加者本人はタブレットの確認画面において、検知した睡眠時間・活動時間が日毎に確認いただけるようにしました。また、参加者のご家族に対しては、LINEを用いて共有できるようにしました。

図 24：LINEでの家族通知画面



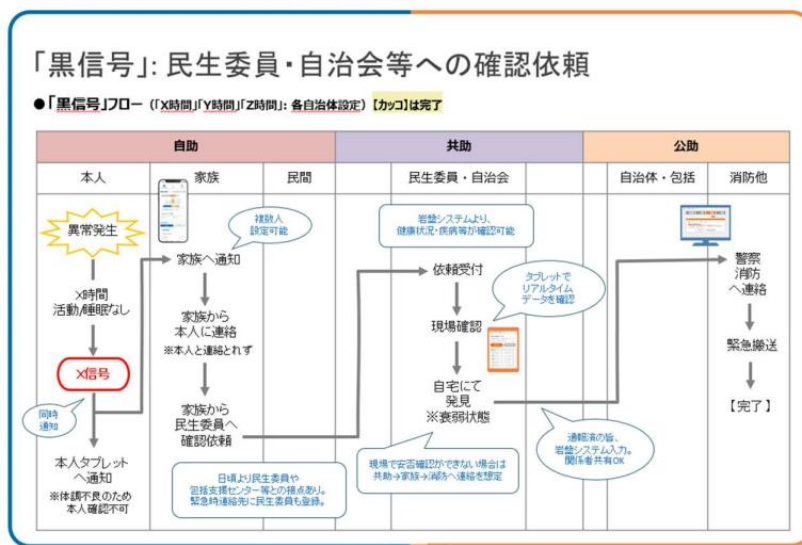
なお、設置後は、機器がうまく作動していない、タブレットの使い方が分かりづらい等のお問合せに対して、電話やメールにて対応を行い、必要がある場合には居宅に訪問し、機器の設置状況等の確認を行いました。

みまもり支援体制の構築については、参加者の検知内容に異変（長期間活動が確認できない等）が生じた際に、初動対応をどのように行うかの議論・確認を行いました。具体的には、対象者のご家族や地区の関係者（区長・民生委員等）、自治体に順次連絡を行うことで、自助・共助・公助の順に優先順位を持たせて通知を行う仕組みの有用性について確認しました。

図 25：異変(長時間睡眠・活動が確認できない等)時や、「黒信号」（孤独死放置への対応）の考え方



図 26：「黒信号」フロー案



(4) 事業の効果を高めるための取組

本事業の取組においては、設置後、定期的な訪問を実施し機器の設置状況の確認等を行いました。また、みまもり体制が地域との信頼関係を基盤とした効果的なものとなるよう、利用者ならびに地区関係者とコミュニケーションを取りながら信頼関係を構築するため、以下の取組を行いました。

a. 「生活サポート」の実施

MIKAWAYA21が全国に展開する、生活の中で発生する「ちょっと困った」の解決から「こんなことしたい」まで叶える高齢者向けサービス「まごころサポート」のノウハウを活用し、国頭村・大宜味村・東村にて実施しました。

図 27 : 「MIKAWAYA21」について

## MIKAWAYA21

**会社名** MIKAWAYA21株式会社  
**設立** 2012年8月10日  
**所在地** 東京都荒川区  
**資本金** 9億1703万1100円（資本準備金含む）  
**株主** インキュベイトファンド  
 株式会社神明ホールディングス  
 株式会社電通グループ  
 環境エネルギー投資  
 サントリーウエルネス株式会社  
 シェアリングテクノロジー株式会社  
 スパイラルキャピタル  
 TBSイノベーション・パートナーズ合同会社

<b>取締役</b>		<b>会社名</b>	MIKAWAYA21株式会社
<b>代表取締役社長</b>	青木 慶哉	<b>設立</b>	2012年8月10日
<b>社外取締役</b>	平川 健司	<b>所在地</b>	東京都荒川区
<b>取締役</b>	鈴木 孝英	<b>資本金</b>	9億1703万1100円（資本準備金含む）
<b>マネージャー</b>	竹内 誠	<b>株主</b>	インキュベイトファンド
	宮崎 昌樹		株式会社神明ホールディングス
			株式会社電通グループ
			環境エネルギー投資
			サントリーウエルネス株式会社
			シェアリングテクノロジー株式会社
			スパイラルキャピタル
			TBSイノベーション・パートナーズ合同会社

シニアの暮らしのお手伝い

# まごころ サポート

**ミッション** シニアの毎日に豊かさを

**ビジョン** すべてのシニアに良き隣人を

(C) Oshiden, C plus C 2023 / Strictly Confidential

図 28 : 「生活サポート」イメージ

簡単サポート

- ・デジタル・スマホサポート
- ・お買い物サポート
- ・家の中の掃除 etc

プロサポート

- ・エアコンクリーニング
- ・水回りの掃除 etc

ご紹介サポート  
お届けサポート

- ・水道工事
- ・リフォーム
- ・家電製品、運動グッズのお届け etc

- 26 -

表 5 : 「生活サポート」実施件数

	国頭村	大宜味村	東村
重点地区	0	6	4
その他の地域	1	3	1
小計 (件数)	1	9	5
合計	15		

表 6 : 「生活サポート」実施内容

No	日時	内容	地域
1	2023/7/27	調べものサポート (月桃について)	大宜味村
2	2023/8/17	携帯電話操作方法サポート	大宜味村
3	2023/9/14	老人会準備の手伝い (テーブル等運搬)	大宜味村
4	2023/9/15	庭の草刈り	大宜味村
5	2023/10/4	買い物同行 (郵便局、農協)	東村
6	2023/10/16	ダンスサークル同行	大宜味村
7	2023/10/17	脳トレプリント	東村
8	2023/10/23	ダンスサークル同行	大宜味村
9	2023/11/22	病院、買い物同行	東村
10	2023/11/29	家壁の汚れ落とし (高圧洗浄機)	大宜味村
11	2023/12/22	窓ガラスの掃除	大宜味村
12	2023/12/22	買い物代行	大宜味村
13	2024/1/19	自宅内電気カバーの補修	東村
14	2024/1/25	木の枝の伐採	国頭村
15	2024/1/25	畑作業のサポート	東村

図 29：「生活サポート」実施の様子



b. データを活用したアプローチ

サービスの価値を感じていただきつつ、相手との信頼関係を深めるためには定期的な訪問が効果的です。本事業では高齢者の在宅・不在・睡眠が「見える化」される優位性を活かし、自治体・包括支援・社会福祉協議会・自治会等の居宅訪問活動への応用も意識しながら、理想的な訪問・コミュニケーションのマニュアル化を行い、地域の結（つながり）を深める取組を実現しました。以下、マニュアルの概要を記載します。

**【導入時に重要な事】**

①丁寧の説明し、正しい理解をしてもらう

機器の説明や誰のためのサービスなのか、丁寧に説明する。

「誰のため」という点において、自分のことを周りで支えてくれている人（家族・地域・ケアマネージャー等）のためのサービスでもあるということを正しく理解してもらう。

- ②小さな不安や変化に気づいてくれる人が周りにいると感じてもらうこと  
 方が一のことを考えて生活している人は少ないことを念頭に置き、「いつもより睡眠時間が短い」、「いつもより外出時間が減った」等の日常の小さな変化に気づいて、そのことを心配してくれる存在がいると感じてもらう。

【訪問・コミュニケーションの4ステップ】

	ステップ① 訪問1回目	ステップ② おきづかいコール	ステップ③ 訪問2回目	ステップ④ 訪問3回目
タイミング	設置後1週間	ステップ①から 3～4日後	ステップ②から 1～2週後	ステップ③から 3週以内
目的	設置後の様子を確 認するため	みまもられている ことを感じてもら うための電話	生活の様子を確認 するため	相手との信頼関係 を深めるため
ポイント	・機器に不安を感じ ていないか ・周りの人にとって 嬉しい機器である ことを説明	・睡眠データを確認 し、睡眠の質や安定 に寄与する情報を 提供する	・データと本人の話 を照らし合わせな がら、実際の生活ス タイルを把握する	・この時期にあえて 「データを見ずに 来たよ」と伝えると 信頼関係が深まり、 様々な相談が増え る

【コミュニケーションのポイント】

①申し込み時

- ・会話を交わす。（申し込みを希望した経緯等の聞き取り、緊張をほぐしてあげる）
- ・機器一式を見せながら説明する。
- ・ご家族は同席可能か確認する。（日程を改めて説明を実施することも重要）

②機器設置時

- ・ご家族や地域関係者は同席可能か確認する。（日程を改めて設置することも重要、ご家族や地域関係者が一緒に聞いてくれることは高齢者の安心につながる。わからないまま進んでいく事が何よりも不安に感じる。）
- ・事業内容や機器についての説明は何度でも実施する。
- ・データの確認方法を一緒に操作し説明する。（なるべくご自身で操作してもらう）

③訪問

- ・設置後の心境の聞き取り。

- ・「例え」はこちらから言ってあげる。（「何か気になる点がありますか？」では大体の高齢者は「大丈夫」と返答する）
- ・再度、タブレット操作のおさらいをする。一緒にデータを見て良いか確認する。
- ・データと高齢者本人の生活を照らし合わせながら会話する。
- ・データを「見て、来た」と「見ずに、来た」を使い分ける。

#### 【参加者によるデータを活用した事例】

##### ①Aさん（80代、女性）

- ・赤枠の2日間にかけて、睡眠データの乱れがあったためMIKAWAYA21スタッフが訪問。
- ・風邪症状が出ており、2日間咳がひどく、寝たり起きたりの繰り返しだった。
- ・ご家族もデータを確認しており、連絡があった。
- ・一緒に病院受診を予定している。  
ご家族が既に異変に気づいており、対処してくれていることが判明した。

##### ②Bさん（70代、女性）

- ・設置後、なかなか睡眠データが表れないため原因を調査中に、ご本人より「かかりつけ医にこのデータを見せたい」との要望があった。
- ・ご本人にも夜、トイレに起きた後、しばらく寝付けない自覚がある。
- ・CPAP（持続陽圧呼吸療法）療法が必要かの検査を実施したが、異常無しだった。
- ・「異常無しの結果に安心した」とのことで、その後少しずつ睡眠データが表れるようになった。  
ご本人より、「医師への相談にデータを活用したい」との要望があり、サポートを実施した。

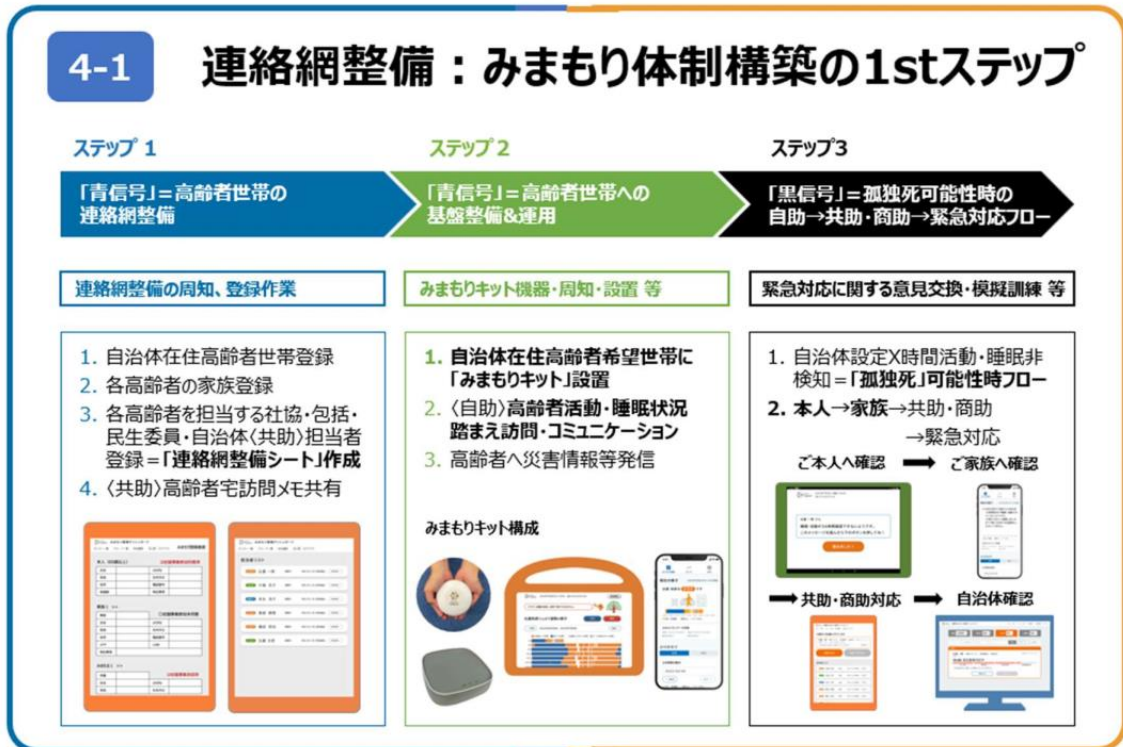
#### c. 重点地区における連絡網整備

今般の高齢者等のみまもり体制を構築するためには、高齢者本人とご家族までを含めた連絡網を整備する必要があると考え、区長と連携しながら整備を行いました。整備状況は、65歳以上高齢者全世帯のうち、東村川田区で41%、石垣市野底栄区で66%となっております。

整備した連絡網は、区民名簿や災害時避難行動要援護者名簿への応用等、平常時から緊急時（体調不良や災害等）まで含めた備えとして寄与すると考えています。



図 30：連絡網整備のイメージ



37

図 31：連絡網整備 周知チラシと整備の様子

災害が起きたら・・・「もしも」のために  
川田区に住む **65歳以上の方全員**  
連絡網の整備をします！

**連絡網整備**って何？

台風・地震・津波など自然災害が発生したとき、川田区の皆さんの安否確認をするために必要な**区民と家族の連絡先情報を登録**します。

安否確認が早いほど助かる命も多くなります。

**受付場所**  
川田公民館 で受け付けています

**受付日時** ※10分程度で完了します

- ・ 1月19日(金) 12:00～17:00
- ・ # 23日(火) 9:00～15:00
- ・ # 25日(木) 12:00～17:00
- ・ # 29日(月) 9:00～15:00

安心して暮らせる川田区にしましょう！ 区長の写真等

沖縄電力グループ  
おきでん  
CplusC  
お問い合わせ先  
0120-425-065

災害が起きたら・・・「もしも」のために  
栄区に住む **65歳以上の方全員**  
連絡網の整備をします！

**連絡網整備**って何？

台風・地震・津波など自然災害が発生したとき、栄区の皆さんの安否確認をするために必要な**区民と家族の連絡先情報を登録**します。

安否確認が早いほど助かる命も多くなります。

**受付方法**  
栄公民館 で受け付けています

**受付日時** ※15分程度で完了します

- ・ 2月3日(土) 14:00～17:00
- ・ 2月4日(日) 10:00～15:00

安心して暮らせる栄区にしましょう！ 区長の写真等

沖縄電力グループ  
おきでん  
CplusC  
お問い合わせ先  
0120-425-065



#### (5) アンケート調査の実施

本事業の取組に関して、参加高齢者・地区関係者等の関係者に対してアンケート調査を実施し、効果を検証しました。具体的なアンケートの内容については、事前に沖縄県と調整の上で実施しました。

##### a. 参加者に対するアンケート調査

本事業の参加世帯数が102世帯であることから、事業の実態の把握のためには、有効回答数を極力大きくすることが望ましいことを踏まえ、特に参加高齢者においてはメールや郵送によるアンケート送付・集計を採用するとアンケート回収率が下がるため訪問・対面によるアンケートを実施しました。ただし、地理的事実等から訪問・対面が困難な参加利用者に限り、アンケート郵送や電話等によるヒアリングを実施しています。

図 32：アンケート設問【参加住民の方】

令和6年2月実施

令和5年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）  
アンケート調査【参加住民の方】

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」にご参加いただき、ありがとうございます。  
参加中の体験についてお聞かせいただければ幸いです。  
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

Q1参加を決めたポイントは何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 沖縄県・自治体への信頼	<input type="checkbox"/> 知人・友人からの推薦
<input type="checkbox"/> 沖縄電力グループへの信頼	<input type="checkbox"/> 自分の健康が不安だったから
<input type="checkbox"/> 区長・民生委員等からの推薦	<input type="checkbox"/> 地域の取組に参加したいから
<input type="checkbox"/> 家族からの推薦	<input type="checkbox"/> その他（                      ）

Q2期間中良かったこと・困ったことはありましたか？（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> みまもられていて安心	<input type="checkbox"/> 導入の手間が少ない
<input type="checkbox"/> 自分の生活がふり返れてよい	<input type="checkbox"/> 地域住民との関わりあいが増えた
<input type="checkbox"/> 家族と連絡が増えて嬉しい	<input type="checkbox"/> 端末の表示がわかりにくかった
<input type="checkbox"/> 共同売店・区等との コミュニケーションが増えた	<input type="checkbox"/> 端末の操作が上手くできなかった
	<input type="checkbox"/> 不安が増えた

例 睡眠・活動時間を確認することで  
逆に不安になった 等

Q3次年度も継続して利用したいですか？（該当項目に○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 有料でも継続利用したい	<input type="checkbox"/> 検討中
<input type="checkbox"/> 無料なら継続利用したい	<input type="checkbox"/> 利用したくない

Q4みまもりサービスの満足度を教えてください（該当項目に○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 大変満足	<input type="checkbox"/> 満足
<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 不満

Q5そのほか感じたこと・今後の改善点などあれば、自由にご記入ください。

(表面から続きます)

Q6最後にあなた自身について教えてください(該当項目に○をつけてください)

居住地 [ 国頭村 ・ 大宜味村 ・ 東村 ・ 伊江村 ・ 石垣市 ]

年代 [ 59歳以下 ・ 60歳代 ・ 70歳代 ・ 80歳代 ・ 90歳代 ・ 100歳以上 ]

性別 [ 男 ・ 女 ]

お名前(任意)

---

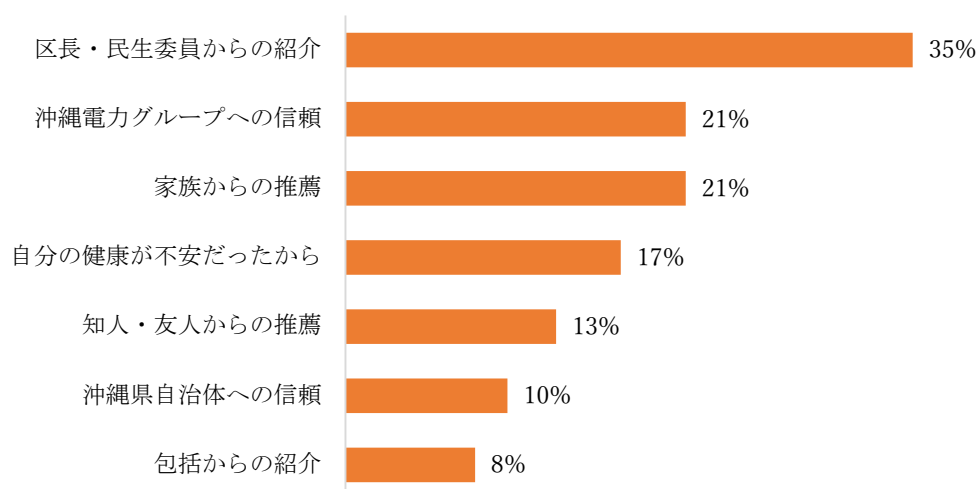
ご回答おつかれさまでした。  
貴重なご意見をありがとうございました。

アンケート調査の主な結果については、以下のとおりとなりました。（回答数：49件）

- ・参加を決めたポイントとしては、昨年度同様に「区長・民生委員等からの推薦」が一番多くの回答が集まり、今年度は4割弱の回答が集まり、重点区域の自治会等からの積極的な参画をいただきました。家族が離れて暮らすことが多い5市村においては、地域からの推薦の重要性が高いことがうかがえます。

図 33：参加を決めたポイント

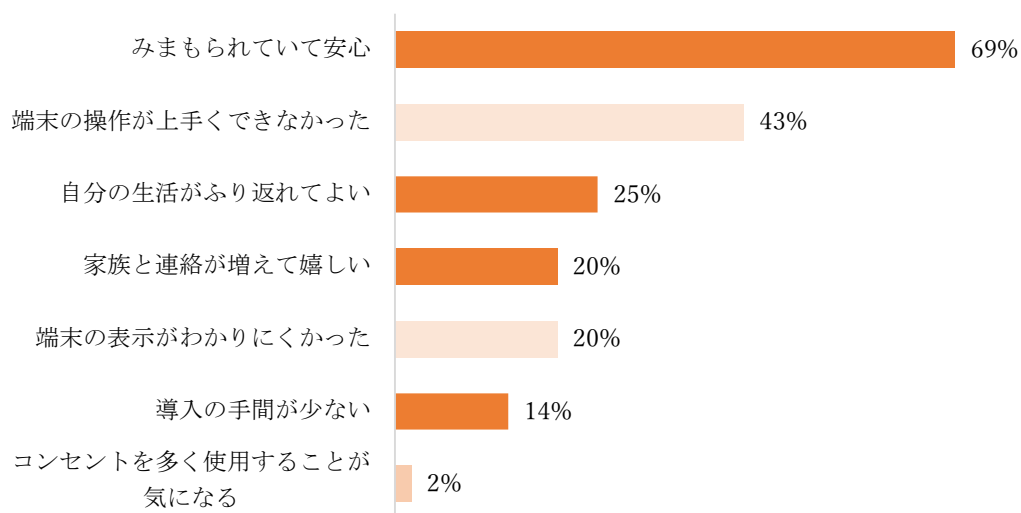
Q1 参加を決めたポイントは何ですか？



- ・期間中良かったこと・困ったこととして、昨年度同様に回答者の7割から「みまもられていて安心」との回答がありました。このほか、「生活が振り返れた」「家族との連絡が増えた」「導入の手間が少ない」など、弊社サービスの目指すことが実現されていたと考えられます。なお、「端末の操作が上手くできなかった」「端末の表示がわかりにくかった」との回答については、IoTに対する嫌悪感を軽減させるため、設置後の定期的な連絡・訪問により機器の操作説明等を実施しています。「コンセントを多く使用することが気になる」との回答については、みまもりセンサーのアップデートにより改善されると考えています。

図 34：期間中良かったこと・困ったこと

Q2 期間中良かったこと・困ったことはありましたか？



- ・次年度も継続して利用したいかとの質問に対しては、回答者の過半数が継続を希望する回答となり、本事業の取組の効果が十分にあったことがうかがえます。
- ・みまもりサービスの取組への満足度についての質問では、「大変満足」「満足」合わせて7割を占める結果となりました。「不満」と回答した方からは、「寝室に設置するセンサーのコードで転ぶ可能性がある」や「データに自分の行動が正確に出ていると思えない」というご指摘を頂いており、設置の際コード類が生活の妨げにならないよう心掛けること、高齢者本人の生活にデータが即しているか定期的な聞き取りや機器の位置調整が継続して必要であるという気づきになりました。

図 35：次年度の継続意志

Q3 次年度も継続して利用したいですか？

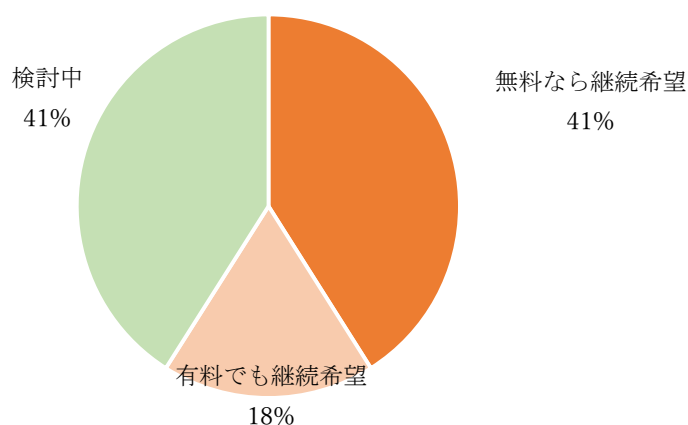
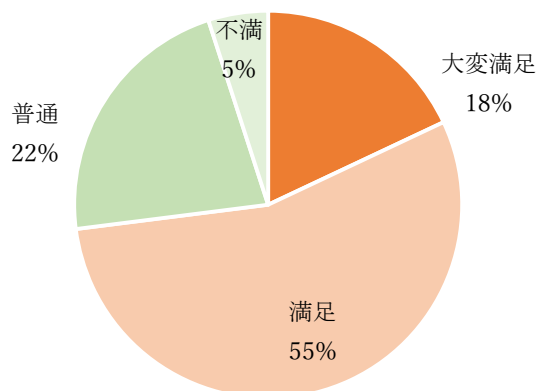


図 36：みまもりサービスに対する満足度

Q4 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください



・その他、自由記載にて、高齢者からは「娘から連絡がきて、みまもられている実感がある。」  
「みまもられて安心だった」「タブレットの操作が難しかった。」「タブレットをもっといろいろ活用したい」「機器を設置した後も関わってくれることが感動」などの声をいただいております。みまもられている実感やタブレット活用に対する意欲が見えました。アンケート調査に同席した家族からは「在宅・睡眠・外出がある程度わかるので安心できている。」「母の事を把握でき助かっている。」などの声をいただいております。改善の要望としては「コードが無ければ良い」「緊急の事態になった時に連絡できると良い」「データに自分の行動が正確に出て欲しい」などの声がありました。

b. 地域の関係者に対するアンケート調査

5市村それぞれの自治体・区長・区関係者・社協・包括・民生委員など、本事業に地域の関係者として参加いただいた方々20名に対してアンケート調査を行い、13件の回答を得ました。

図 37：アンケート設問【地域の関係者様】

令和6年2月実施

令和5年度沖縄県離島・過疎地域づくりDX促進事業（高齢者等のみまもり支援事業）  
アンケート調査 【地域の関係者様】

このたびは、「高齢者等のみまもり支援事業」への様々なご協力をありがとうございました。  
2月末の県事業報告書作成に向けて、下記アンケート調査にご協力ください。  
いただいたご意見は、今後の改善に生かして参ります。

Q1 今回の事業へのご協力の背景は何ですか？（該当項目全てに○をつけてください）

- 地域における高齢者とのコミュニケーションが薄れてきた
- 地域における助け合いの意識が薄れてきた
- 地域における急速な高齢化
- 地域における単身高齢世帯の増加
- 地域で暮らす高齢者の孤独死の発生に対する不安
- 高齢者みまもり等の業務負担増加
- 地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声

Q2 地域における「高齢者みまもり」の現状を教えてください  
（該当項目全てに○をつけてください）

- 良好にできている
- 高齢者対応において、必要な世帯をカバーできていない
- 「高齢者みまもり」に対する業務・人的負担が多い
- 「高齢者みまもり」を担う人的リソースが不足している
- 「高齢者みまもり」の負担が一部に集中している
- 「高齢者みまもり」取組の効率化が進んでいない
- 孤独死などへの対応が不十分
- 地域で暮らす高齢者・家族から問い合わせ・不安の声がある

Q3 期間中の状況について感想をお聞かせください（該当項目全てに○をつけてください）

<input type="checkbox"/> 事業運営は良好	<input type="checkbox"/> 導入の手間が少ない
<input type="checkbox"/> 高齢者から「安心した」の声	<input type="checkbox"/> 地域住民との関わりあいが増えた
<input type="checkbox"/> 家族から「安心した」の声	<input type="checkbox"/> 端末の表示がわかりにくかった
<input type="checkbox"/> 地域の高齢者とのコミュニケーションが増えた	<input type="checkbox"/> 端末の操作が上手くできなかった
	<input type="checkbox"/> 不安が増えた

例 睡眠・活動時間を確認することで  
逆に不安になった 等

（裏面に続きます）



(表面から続きます)

Q4 来年度以降の高齢者みまもりはどう取り組んでいきたいと思えますか？

(該当項目全てに○をつけてください)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 設置数を増やしたい       | <input type="checkbox"/> 社協/包括の関わりを増やしてほしい                               |
| <input type="checkbox"/> 現状規模の設置数で継続したい  | <input type="checkbox"/> 高齢者とのつながり(結)<br>(みまもり活動にかかわらず、<br>コミュニケーションの増加) |
| <input type="checkbox"/> 地域の「安心」を高めたい    | <input type="checkbox"/> 地区関係者の連携強化を図る<br>(情報共有の仕組みによるDX化等)              |
| <input type="checkbox"/> 自治体の関わりを増やしてほしい | <input type="checkbox"/> 住民の高齢者福祉への意識醸成                                  |
| <input type="checkbox"/> 区の関わりを増やしてほしい   | <input type="checkbox"/> 他の地域にも同取組を紹介したい                                 |

Q5 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください

(該当項目に○をつけてください)

- |                               |                             |
|-------------------------------|-----------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大変満足 | <input type="checkbox"/> 満足 |
| <input type="checkbox"/> 普通   | <input type="checkbox"/> 不満 |

Q6 そのほか感じたこと・改善点などあれば、自由に記入ください。


Q7 最後にご回答者について教えてください(該当項目に○をつけてください)

市村名 [ 国頭村・ 大宜味村 ・ 東村 ・ 伊江村 ・ 石垣市 ]  
ご所属 [ 自治体・ 包括 ・ 区 ・ 社協 ・ その他 ]

お名前(任意)

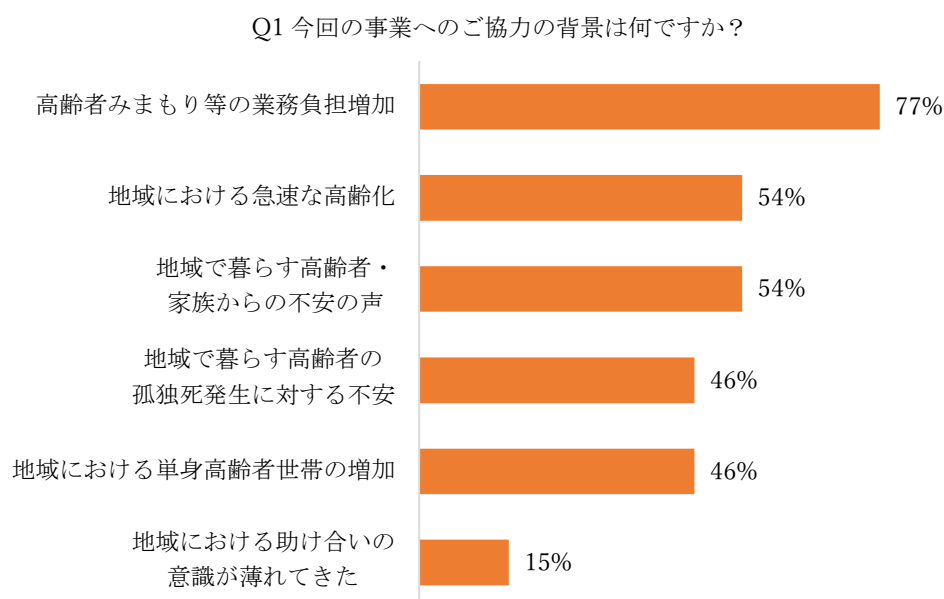
\_\_\_\_\_

ご回答おつかれさまでした。  
貴重なご意見をありがとうございました。

アンケート調査の主な結果については、以下のとおりとなりました。（回答数：13件）

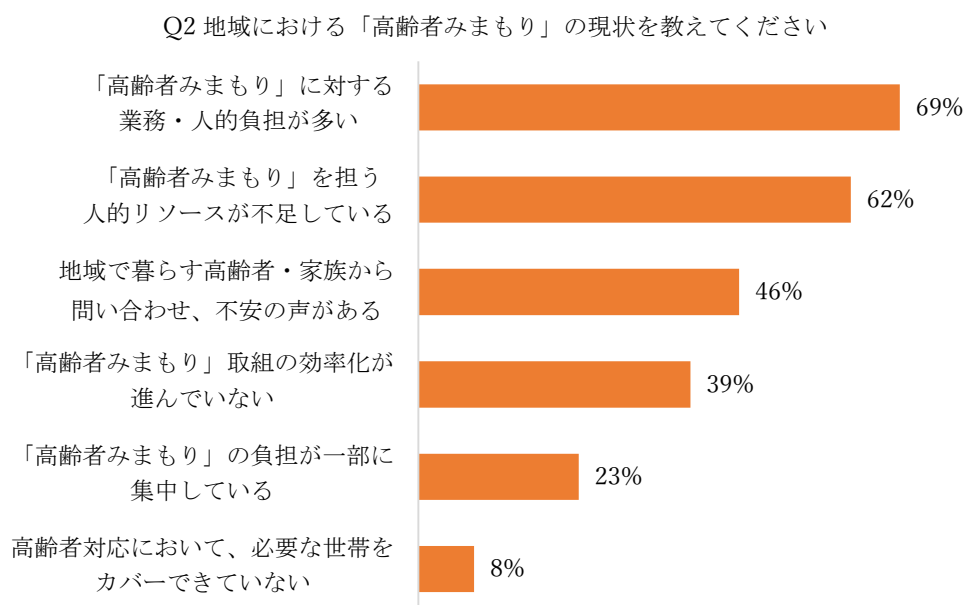
- ・当事業への協力の背景については、「高齢者みまもり等の業務負担増加」「地域における急速な高齢化」「地域で暮らす高齢者・家族からの不安の声」と回答する方が昨年度よりも多くなりました。次いで「高齢者の孤独死発生に対する不安」の回答も、昨年度から増加しました。

図 38：事業へ協力の背景



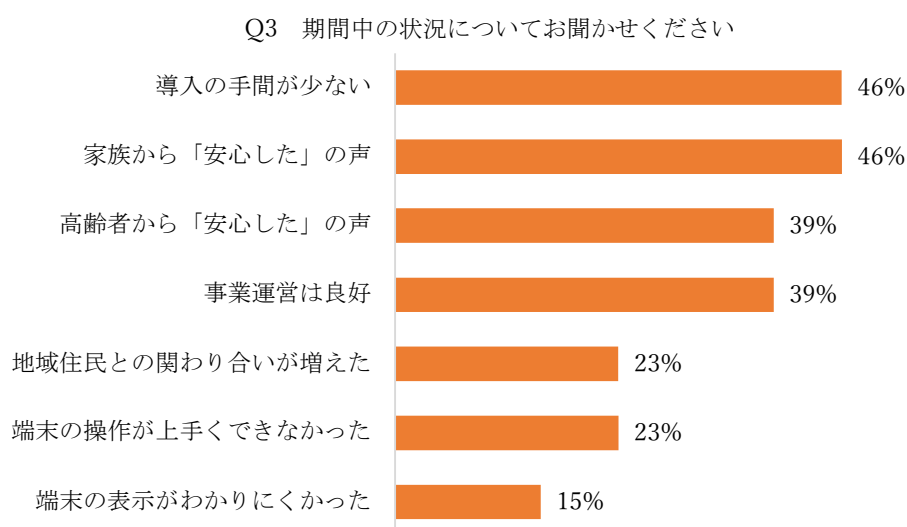
- ・地域における高齢者みまもりの現状については、昨年度に続き「業務負担」や「人的リソース不足」への回答が多く、これに関連して、「取組の効率化」の必要性を求める意見も見られ、現状のみまもり活動の手法を続ける場合には、人的リソースに大きな懸念を感じている関係者が多いことが明らかとなりました。このほか、「負担の一部集中」などの項目にも、一定数の回答がありました。

図 39：「高齢者みまもり」の現状



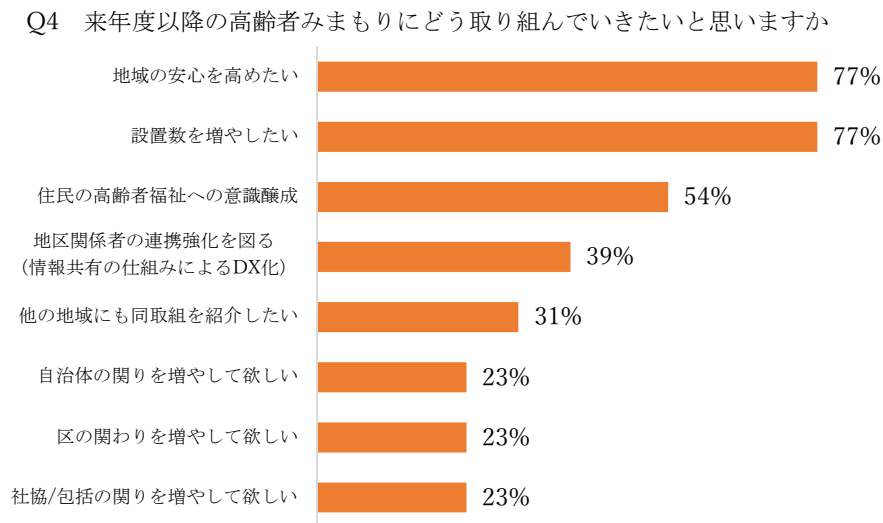
- ・期間中の状況については、昨年同様に「導入の手間が少ない」に一番回答が集まり、に次いで「家族から「安心した」の声」「高齢者から「安心した」の声」「事業運営は良好」との回答が多く見られました。高齢者・家族の安心は参加者の回答とも合致する点と言えます。他方で、「端末の操作が上手くできなかった」との回答も見られており、みまもる側の操作性についても、今後の改善対応が必要と考えられます。

図 40：期間中の状況について



- ・来年度以降の高齢者みまもり活動の方向性については、昨年度同様に「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」「意識醸成」などの回答が多く、多くの世帯への普及を望む声が各関係者から示された結果となりました。次いで「地区関係者の連携強化を図る」や「自治体・区・社協/包括の関りを増やして欲しい」に一定の回答がありました。

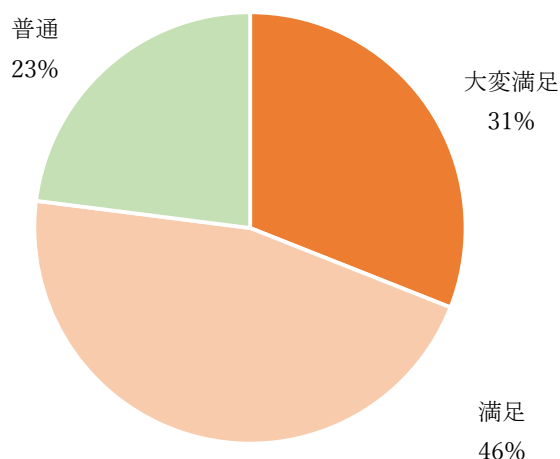
図 41：来年度以降の取組について



- ・本事業のみまもりサービスに対する満足度については、「大変満足」が3割弱、「満足」が4割、あわせて7割以上の方が満足を示す結果となりました。「不満」と回答した方は、みられませんでした。

図 42：みまもりサービスに対する満足度

Q5 みまもりサービスの取組に対する満足度を教えてください



その他、自由記載にて、「ご家族への事業説明対応がスムーズで助かっている」「設置数を増やし家族の声を聞きたい」「緊急時の対応整理について引き続きよろしくお願ひします。」「これまで区長会と民生委員定例会において事業説明を進めてきたが、それを個人で留めていることに気がつきました。今後は各区で代議員会が定期的開催されているので、そこでの事業周知を行っていきたい(代議員会は各会長を交えた集まり)」など、さらに普及が進んでほしい思いと、緊急時対応への関心の声もいただきました。

(6) 関係機関等との取組状況に関する連絡会議の実施

県、5市村、地区関係者等を交えて取組状況等を共有する連絡会議を、事業開始時および事業実施において状況を共有・議論の必要がある際に開催しました（全3回開催）。連絡会議では、併せて緊急時の対応について、リハーサルの実施も行っております。

図 43：連絡会議について

## 本事業概要と〈連絡会議〉について

**事業実施概要**

1. 国頭村、大宜味村、東村、伊江村、石垣市を対象地域として事業を実施。
2. 自治体、社会福祉協議会、各地域の自治会等と連携し、高齢者等の《みまもり体制の構築》につながる取り組みを実施する。

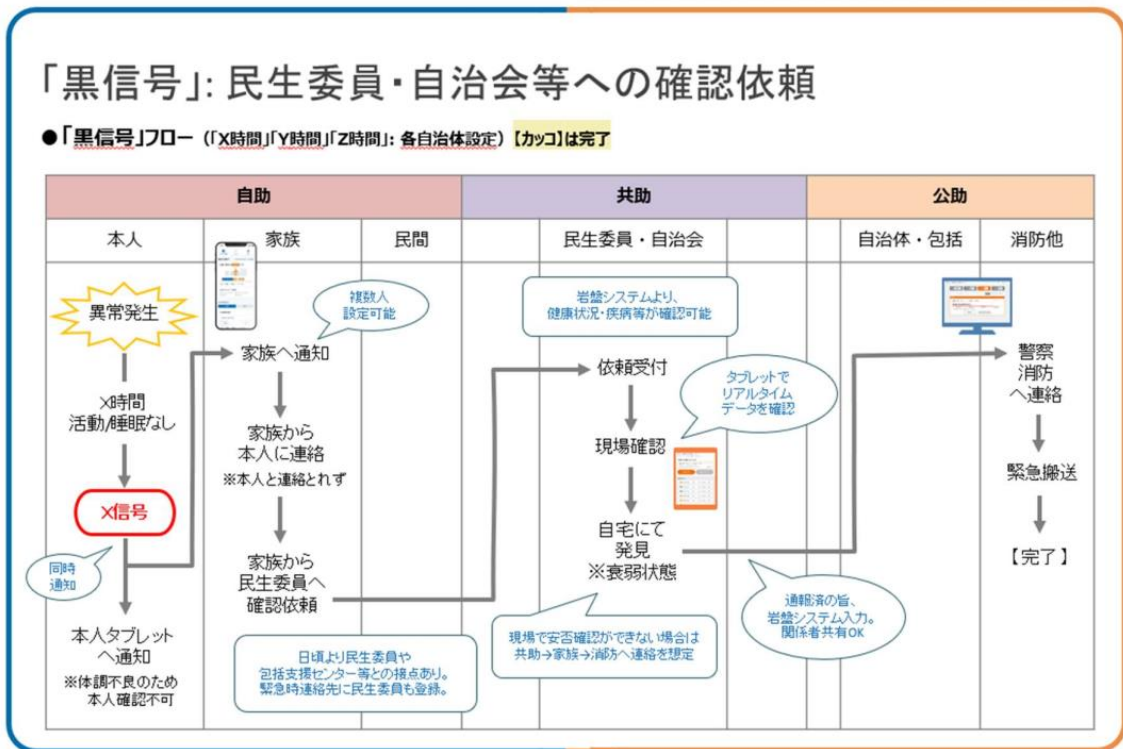
**事業実施骨子**

1. 自治体や地域関係者等とも連携し、本事業に参画する**独居高齢者等の募集**を行います。
2. デジタル技術を生かした「**みまもりセンサー**」を活用し、データを収集・活用します。
3. 《**みまもり支援体制**》を構築・運用します。
4. **県・自治体・地域関係者等**を交えて、取組状況等を共有する**〈連絡会議〉**を開催します。
5. 対象者・家族・自治体・地域関係者等に**アンケート調査を実施し、効果を検証**します。

【緊急時対応のリハーサル項目】

- ・本人が安否確認へ回答
- ・家族が安否確認へ回答
- ・家族が安否確認できず、民間サービスへ確認依頼（有償）
- ・家族が安否確認できず、民生委員・自治会等へ確認依頼（民生委員・自治会等の承認を得た方に限る。）

図 44：リハーサル項目 民生委員・自治会等への確認依頼



【連絡会議における緊急時対応について、地区関係者との意見交換】

国頭村 2024年1月18日（木）

課長：消防にも画面を置く（通知が届く）想定か。

CPC：消防にも通知が届く状態が理想的だと考えている。民間警備会社や消防との調整を鋭意進めている。

課長：民生委員がタブレットを持ちたくないと言った場合はどうなるか。

CPC：民生委員がタブレットを持つかどうかはご本人の意向を優先する。

大宜味村 2024年1月12日（金）

包括：緊急時を想定した訓練は定期的に行う必要があるだろう。

CPC：同意見である。本システム完成後には定期的にも実施したい。

係長：緊急連絡網整備について、次年度はどの地区を想定しているか。また連絡網整備の手伝いを民生委員に依頼することはできないか。その場合謝礼等はあるか。

CPC：役場側からモデル地区として推薦する地区があれば調整したい。民生委員への依頼は当初から想定しているが、民生委員としては対価をもらわないという方が多い。次年度はさらに村と合同の事業である点を押し出しつつ、対価受領の件もクリアできるとなお良い。

東村 2024年1月12日（金）

課長：緊急時の対応依頼通知について大きい文字、シンプルな表現は必須。1ページに対して1つのアクションでどンドン次のページに進むように作成してはどうか。

CPC：1ページに複数の回答項目が続くと、高齢者は回答しづらくなる点、貴重なご意見である。開発側に伝える。

区長：緊急時の通知は音や音声の付加も検討してほしい。高齢者や民生委員にはハンディキャップを抱えた人も多い。（目が悪い等）

CPC：音での通知は必須だと考えている。音声や光での通知機能についても開発側に伝える。

課長：夜間、休日の対応はどのようになるか。

CPC：民間警備会社や消防との調整を進めている。

伊江村 2024年1月22日（月）

課長：デバイスも含め、新しいみまもりシステムを本運用するにあたり、家族側も家族アプリのインストールや、活用ができるようフォローが必要。

CPC：伊江村において、区長の皆さまは別の本業がある中、区長や民生委員の役割を担っていると伺っている。共助の負担感が増えないよう設置後の訪問を重ね、ご本人やご家族がアプリを確認・活用するようフォローを継続して実施する。

石垣市 2024年1月17日（水）

課長：石垣市では消防との連携ではなく、警備会社との連携が良いかもしれない。石垣市消防は慢性的に人手不足。誤報についても懸念がある。

CPC：消防との連携において通報の確かさというのは継続的な課題だと認識している。可能な限り誤報を回避できるようシステム開発やデバイスのアップデート、定期的な模擬訓練によって改善のフィードバックを得たい。



図 45：連絡会議の様子



## 4 事業の成果

### (1) 概要

5市村の高齢者単身世帯を中心とする計102世帯にみまもりキットを設置し、居住者の在宅時の活動状況をご家族・地域のみまもり関係者が把握できるようになりました。参加者・地域関係者アンケートでも約7割が満足以上の評価をするなど、地域のみまもり体制構築に寄与しており、本事業のKPI（ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数KPI：100世帯以上。サービス利用の満足度KPI：65%以上。）を達成しました。

このほか、生活サポートや連絡網整備を併せて実施することで、地域のみまもり体制の一層の強化に寄与しました。

### (2) 詳細

自治体広報誌での事業概要の紹介や参加者募集活動、SNSでの情報発信、新聞・ラジオ広告、役場や公民館へのチラシの設置・配布、地域の関係者や地域住民向けの説明会の開催、地域イベントへのスタッフの参加を通じた周知活動、その他個別の問い合わせ対応等を行い、ICT等を利用したみまもりを実施する世帯数KPI：100世帯以上を達成しました。

実施したアンケート調査によると、みまもりサービスの取組への満足度についての質問では、「大変満足」「満足」が7割を占める結果となっており、サービス利用の満足度KPI：65%以上を達成しています。電源コードやデータの正確性に対する「不満」が表れ、機器やサービスに対して貴重なご意見を頂きました。WiFi機器やシステムのアップデート等によって改善・対応し、事業の効果がさらに高まるよう努めて参ります。

地域の関係者からは、「導入の手間が少ない」「高齢者や家族から「安心した」の声」との回答が見られました。また、「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」「意識醸成」などの回答から、多くの世帯への普及を望む声が各関係者から示された結果となったことも、本事業の成果の一つと言えます。本事業のみまもりサービスに対する満足度については、「大変満足」が3割弱、「満足」が4割、あわせて満足度7割となっており、地域関係者においてもKPIを達成しています。

昨年度のアンケートと回答者が異なるため、単純な比較はできませんが、参加されるきっかけが多様になったことや、沖縄電力グループへの信頼が増加していることを、アンケート結果が示しており、昨年度から継続して、地域の方とのコミュニケーションを実施してきた結果と考えられます。また、地域関係者からの回答では、「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」の回答が昨年度に比べて増加しています。地域関係者のうち一定数は昨年と同一の回答者であることより、昨年度に比べてより高い効果を示せたことに加えて、効果を感じる機会が増えたこととも伺え、継続的な取組がその一助となっていると考えられます。

今後、地域関係者の「地域の安心を高めたい」「設置数を増やしたい」などの要望に応じて、地域の重点地区にて、設置高齢者世帯率100%を目指し、より満足度が高く、効果を実感していただけるよう取り組んで参ります。設置高齢者世帯率100%を達成することに

より、孤独死対策や地域の連絡網、みまもり体制の充実等に加えて、新しい副次的な効果も発生してくるものと考えております。また、本取組により作成した理想的な訪問・コミュニケーションのマニュアル化をさらに深化させ、「見える化」の優位性を活かした日常的なコミュニケーションを増加させ、地域の結（つながり）を深めてまいります。

以 上